

インストールガイド

Space-E

Version 5.5

Space-E/Modeler Ver.5.5

Space-E/Mold Ver.5.5

Space-E/CAM Ver.5.5

Space-E/CAM Hybrid 2D Ver.5.5

Space-E/Draw Ver.1.11

Space-E DirectTranslator Ver.5.5

Space-**E** Ver.5.5 は、株式会社 NTT データエンジニアリングシステムズの登録商標です。

ACIS® は、Spatial Corporation によって US Patent and Trade Mark Office（米国特許庁）に商標登録されています。

DXF/DWG は、米オートデスク社の登録商標です。Contains Autodesk® RealDWG by Autodesk, Inc., Copyright © 1998-2016 Autodesk, Inc., All rights reserved.

Windows NT®, Windows® 2000、Windows® XP、Windows® Vista、Windows® 7、Windows® 8、Windows® 8.1 またその他のマイクロソフト製品の名称および製品名は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

その他の製品および会社名等は、各社の商標または登録商標です。

■ご注意

- ・本書の内容及びソフトウェアは、予告無しに変更されることがあります。
- ・本書の内容は細心の注意をもって作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がございましたら、弊社または販売代理店までご連絡ください。
- ・本書に記載するソフトウェアを運用した結果発生する損害につきましては、本書の記述およびソフトウェアの不備にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- ・本書および本書に記載するソフトウェアは、著作権法上の保護をうけています。
- ・株式会社 NTT データエンジニアリングシステムズに対し文書の承認を得ずに、無断で本書およびソフトウェアの一部あるいは全部について、複写および複製することは禁じられています。

内容

Space- E Ver.5.5 インストールメディア	1
Space- E Ver.5.5 ハードウェア環境	2
●Space- E /Modeler, Mold, CAM, CAM Hybrid 2D, Direct Translator Ver.5.5	2
●Space- E /Draw Ver.1.11	3
グラフィックスボードの設定 (Space- E /Modeler, Mold, CAM, CAM Hybrid 2D)	4
インストールの前に	5
Windows7 にインストールする場合	5
ネットワークについて	5
インストールドライブ.....	5
インストールについて.....	5
●Space- E /Mold をインストールする場合.....	6
●Space- E /Modeler と Space- E /Draw をインストールする場合	6
●Space- E /CAM Hybrid 2D をインストールする場合	6
●Space- E Direct Translator をインストールする場合	6
インストール.....	7
① インストーラ起動	7
② 「Space- E インストーラ」表示	7
③ 使用許諾契約の同意	7
④ 実行中アプリケーションの終了	8
⑤ Language Pack の選択.....	9
⑥ インストールドライブおよびパッケージの選択	9
⑦ 容量計算	11
⑧ インストールパッケージ一覧.....	11
⑨ Space- E /Modeler の環境バックアップ	12
⑩ Space- E /CAM の環境バックアップ.....	15
⑪ インストール完了.....	15
⑫ コンピュータの再起動	15
アンインストール	17
Space- E Ver.5.5 のアンインストール	17
① アンインストールの起動	17
② 「Space- E アンインストール」表示	18
③ 実行中アプリケーションの終了	19

④ 削除するパッケージの選択	20
⑤ アンインストールパッケージ一覧	20
⑥ アンインストール完了	21
⑦ コンピュータの再起動	21
Space-E Ver.5.3 以前のアンインストール	22
● Space-E/Modeler ,Mold ,CAM ,CAM Hybrid 2D, Direct Translator のアンインストール	22
● Space-E/Draw のアンインストール	24
Space-E ライセンス登録	26
概要	26
Space-E ライセンス登録	26
実際の操作	27
① ライセンスマネージャーの起動	27
② ライセンスの取得方法	27
③ ライセンスキーの保存	27
④ UAC(ユーザアカウント制御)のオフ.....	28
⑤ ライセンスキーの登録.....	28
① ライセンスサーバのインストール.....	30
② ライセンスマネージャーの起動.....	31
③ ライセンスの取得方法	32
④ ライセンスキーの保存.....	33
⑤ ライセンスの登録	33
⑥ アプリケーション使用 PC の設定.....	35
システムの起動と終了	37
Space-E/Modeler の起動と終了	37
● Space-E/Modeler の起動と終了	37
● Space-E/Modeler から Space-E/Draw を起動	40
● Space-E/IGES の起動と終了	41
Space-E/CAM の起動と終了	48
● 加工工程設計・穴あけ加工の起動と終了	48
● ワイヤ放電加工の起動と終了	49
Space-E/Draw の起動と終了	50
● Space-E/Draw の起動と終了	50
● Draw ツール Iges(Draw→IGES) の起動と終了	52
● Draw ツール リンクユーティリティ (Draw→DXF) の起動と終了	54

付録：Space- E を Windows で動作させる際の注意点	56
Windows ファイアウォールによる影響	56
Internet Explorer のセキュリティ強化による影響	57
付録：Space- E を Windows 7 にインストールする際の注意点	60
付録：Space- E /Modeler が Space- E /Draw より先にインストールされた際の対策	61
付録：Space- E /CAM 機能継続キット	62
Space- E /CAM Ver.4.2 機能継続キット操作手順	62
① Space-E/CAM Ver.5.5(以下 Ver.5.5)のインストール	62
② Ver.4.2 の機能を継続する環境をセットアップ	62
③ バックアップのフォルダを選択	64
④ Ver.4.2 のメディアから機能を継続する環境をダウンロード	64
確認方法.....	65
Space- E /CAM Ver.5.0 機能継続キット操作手順	66
① Space-E/CAM Ver.5.5(以下 Ver.5.5)のインストール	66
② Ver.5.0 の機能を継続する環境をセットアップ	66
③ Ver.5.0 のメディアから機能を継続する環境をダウンロード	67
確認方法.....	68

Space-E Ver.5.5 インストールメディア

Space-E Ver.5.5 のインストールメディアには、以下のサービスをご利用いただく際に使用するシステムが含まれています。

- *Space-E/Modeler Ver.5.5*
Space-E/Mold, Space-E/Global Deformation, Space-E/Global Deformation PLUS,
Space-E/BLANK, Space-E/TRIM, Space-E/PressLayout, Space-E/Springback
- *Space-E/CAM Ver.5.5*
Space-E/5Axis, Space-E/ExtendPost
- *Space-E/CAM Hybrid 2D Ver.5.5*
- *Space-E/Draw Ver.1.11*
Space-E/Draw-IGES II Ver.3.9
- *Space-E-CATIA DirectTranslator Ver.5.5*
- *Space-E-CATIA V5 DirectTranslator Ver.5.5*
- *Space-E-CATIA V5 DirectTranslator(writer) Ver.5.5*
- *Space-E-Parasolid DirectTranslator Ver.5.5*
- *Space-E-Pro/E DirectTranslator Ver.5.5*
- *Space-E-SolidWorks DirectTranslator Ver.5.5*
- *Space-E-UG DirectTranslator Ver.5.5*
- *Space-E/STEP DirectTranslator Ver.5.5*

※各システムをご利用いただくためには、ご契約が必要です。

Space-E Ver.5.5 ハードウェア環境

各システムをご利用いただく際のハードウェア環境は以下の通りです。

●Space-E/Modeler, Mold, CAM, CAM Hybrid 2D, Direct Translator Ver.5.5

OS 環境	Windows 7 Professional(※1) ServicePack1 以降 (64 ビット)	Windows 8 Pro (64 ビット) Windows 8.1 Pro (64 ビット)
対応機種	Core 2 以上	
メモリ	2GB 以上 (推奨 3GB 以上)	
ディスク容量 (スワップ)	システム 2GB 以上 ページファイル 1GB 以上	
その他	OpenGL ボード(グラフィックボード) 1280×1024(解像度) 65535 色以上(カラー) 3 ボタンマウスまたはホイールマウス ネットワークボード Internet Explorer 8.0 以上	

(※1)インストール前に Windows 7 固有の設定が必要です。

詳細については、『Space-E を Windows 7 にインストールする際の注意点』を参照ください。

※Space-E/Modeler は、IGES、CUBE-Space-E Direct Translator、Space-E/DXF、Space-E/Mold を含みます。

※Space-E/CAM は、EPX オプション、5Axis、ExtendPost、CAM Hybrid2D を含みます。

※Space-E/Modeler, Mold, CAM, CAM Hybrid 2D, Direct Translator Ver.5.5 は上記以外での動作保証は行っていません。

● Space-E/Draw Ver.1.11

OS 環境	Windows 7 Professional ServicePack1 以降 (32 ビット、64 ビット)	Windows 8 Pro (32 ビット、64 ビット) Windows 8.1 Pro (32 ビット、64 ビット)
対応機種	Core 2 以上 (64 ビット OS の場合は 64 ビット OS に対応し た CPU が必要です)	Core 2 以上
メモリ	2GB 以上 (推奨 32 ビット:2GB、64 ビット:3GB 以上)	2GB 以上 (推奨 3GB 以上)
ディスク容量 (スワップ)	システム 275MB 以上 ページファイル 300MB 以上	
その他	1024 × 768 (解像度)(※2) 256 色以上(カラー) 3 ボタンマウス ネットワークボード OpenGL ボード	

※ *Space-E/Draw* と *Space-E/Modeler* をインストールする場合、ハードウェア環境は *Space-E/Modeler* に準じます。

※ *Space-E/Draw* のみインストールする場合、*Space-E/Modeler* が必要とする OpenGL ボードは不要です。

(※2) モニタの解像度

システム出荷時、*Space-E/Draw* の画面の大きさは、モニタ解像度 1024×768 にあわせた設定です。

モニタ解像度 1280×1024 で使用する場合は、グラフィック環境ファイルのパラメータを修正して *Space-E/Draw* の画面の大きさを調整してください。

※ *Space-E/Draw Ver.1.11*、*Space-E/Draw-IGES II Ver.3.9* は上記以外での動作保証は行っていません。

グラフィックスボードの設定 (Space-E/Modeler ,Mold ,CAM ,CAM Hybrid 2D)

Space-E Ver.5.5 動作確認済みボードとドライバ設定は以下の通りです。
OS 環境によってドライバが異なりますので、ご注意ください。

● Windows 7(64ビット)

マシン メーカー	ボード	ドライバ バージョン	ドライバ&Space-E の設定
hp	nVIDIA Quadro K2200	354.56	下記の URL からドライバをダウンロード、およびインストールしてください。また[ドライバの設定方法]に従って設定を変更してください。 http://www.nvidia.co.jp/download/driverResults.aspx/79239/jp
	nVIDIA Quadro K600	306.79	下記の URL からドライバをダウンロード、およびインストールしてください。また[ドライバの設定方法]に従って設定を変更してください。 http://www.nvidia.co.jp/object/quadro-tesla-win8-win7-winvista-64bit-306.79-whql-driver-jp.html
	nVIDIA Quadro 2000		
	nVIDIA Quadro K2000		

(2016/02/24 現在)

● Windows 8, Windows 8.1(64ビット)

マシン メーカー	ボード	ドライバ バージョン	ドライバ&Space-E の設定
hp	nVIDIA Quadro K2200	341.05	下記の URL からドライバをダウンロード、およびインストールしてください。また[ドライバの設定方法]に従って設定を変更してください。 http://www.nvidia.co.jp/download/driverResults.aspx/79239/jp
	nVIDIA Quadro K600	306.79	下記の URL からドライバをダウンロード、およびインストールしてください。また[ドライバの設定方法]に従って設定を変更してください。 http://www.nvidia.co.jp/object/quadro-tesla-win8-win7-winvista-64bit-306.79-whql-driver-jp.html
	nVIDIA Quadro 2000		
	nVIDIA Quadro K2000		

(2016/02/24 現在)

上記の URL でダウンロードできなかった場合は、下の URL からドライバを検索してダウンロードしてください。

<http://www.nvidia.co.jp/Download/Find.aspx?lang=jp>

[ドライバの設定方法]

手順

1. デスクトップ上で右クリックし、「NVIDIA コントロールパネル」を選択します。
2. NVIDIA コントロールパネルビューの選択パネルの[詳細設定]を選択します。
(初回のみ表示されます。)
3. NVIDIA コントロールパネルが表示されます。プルダウンメニューの [ヘルプ] - [システム情報]で確認を行ないます。
[ドライバーのバージョン]でドライバのバージョンを確認することができます。
指定のバージョンであることを確認してください。
4. NVIDIA コントロールパネル左側のメニューから[3D 設定/3D 設定の管理]をクリックします。
5. [グローバル設定]タグのグローバルプリセットに[ベースプロフィール]を選択します。
6. [プログラム設定]タグの[1.カスタマイズするプログラムを選択する(s)]に [CST Microwave Studio (modeler.exe)]を選択します。
7. Modeler.exe 設定の[オーバーレイを有効にします]を選択し、[オン]に設定します。
8. [適用]ボタンをクリックします。
9. NVIDIA コントロールパネルの[ファイル/終了]で終了します。

インストールの前に

Windows7 にインストールする場合

Windows 7 Professional ServicePack1 をインストールしてください。

Space-**E** をインストールする場合は、インストール前に必ず『[付録：Space-**E** を Windows 7 にインストールする際の注意点](#)』に記載された設定を行ってください。

ネットワークについて

ネットワークボードを装備してください。

「ネットワーク」→「プロトコル」の TCP/IP プロトコルをインストールし、その「プロパティ」で IP アドレスを設定してください。

インストールドライブ

Space-**E** Ver.5.5 をインストール際のインストールドライブは1つのみです。
複数のドライブにインストールすることはできません。

インストールについて

Space-**E** (*Modeler, Mold, CAM, CAM Hybrid 2D, Direct Translator, Draw*) をインストールします。

インストールする PC に Space-**E** の旧バージョン(※3)がインストールされている場合、Space-**E** Ver.5.5 インストーラは旧バージョンをアンインストール後に新バージョンをインストールします。

(※3)旧バージョンとは、次のバージョンを指します。

Space-**E** のバージョン： 5.0、5.1、5.2、5.2.2、5.3、5.4 新バージョンとは、Space-**E** Ver.5.5 を指します。

Space-**E** Direct Translator のバージョン： 5.0、5.1、5.1 Service Pack 2、5.2、5.2.2、5.3、5.4 新バージョンとは、Space-**E**/Direct Translator Ver.5.5 を指します。

Space-**E**/Draw のバージョン： 1.0、1.1、1.2、1.3、1.4、1.41、1.5、1.6、1.7、1.8、1.9、1.10 新バージョンとは、Space-**E**/Draw Ver.1.11 を指します。

●Space-E/Moldをインストールする場合

Space-E/Mold は *Space-E/Modeler* と統合されました。パッケージリストに *Space-E/Mold* は表示されません。*Space-E/Modeler* を選択してインストールしてください。

Space-E/Mold の旧バージョンをお使いの場合、特殊部品の sat ファイルを新バージョンでも使用することが可能です。必要な方は以下のフォルダのバックアップを作成してください。

インストール先ドライブの¥HZS¥Mold¥PartsLibDB_POOL¥Special

●Space-E/ModelerとSpace-E/Drawをインストールする場合

Space-E/Draw と *Space-E/Modeler* を同時にインストールするか、*Space-E/Draw* をインストールした後で *Space-E/Modeler* をインストールしてください。

●Space-E/CAM Hybrid 2Dをインストールする場合

Space-E/CAM、*Space-E/Modeler*、*Space-E/STEP Direct Translator* を選択してインストールしてください。

●Space-E Direct Translatorをインストールする場合

Space-E Direct Translator Ver.5.5 を使用するには、*Space-E/Modeler Ver.5.5* がインストールされている必要があります。

Space-E/Modeler と同時にインストールするか、*Space-E/Modeler* をインストールした後で *Space-E Direct Translator* をインストールしてください。

Space-E Direct Translator が対応するソフトウェアおよびバージョンについては、各トランスレータの発行通知書を参照してください。

インストール

インストールメディアをセットすると、「**始めにお読みください**」が起動します。起動しない場合は、DVD 直下の「**index_jp.html**」を WEB ブラウザで表示してください。

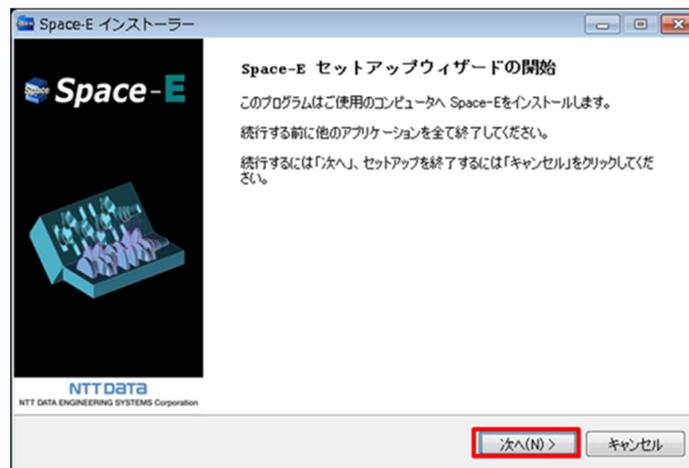
① インストーラ起動

「**始めにお読みください**」の右の個所をクリックすると、インストーラが起動します。
起動しない場合は、DVD 直下の「**Setup.exe**」を実行してください。



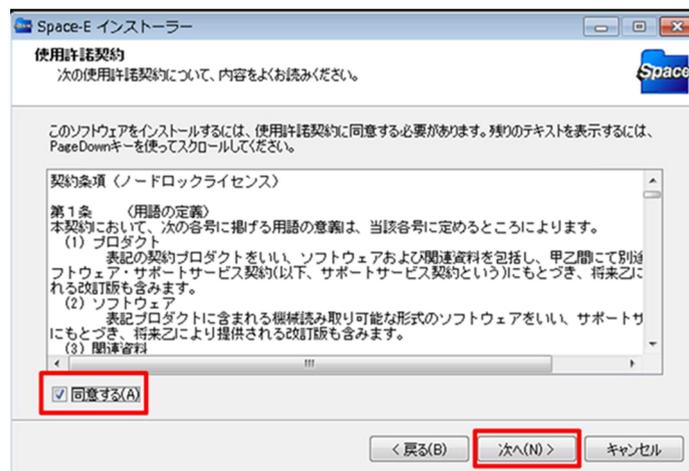
② 「Space-E インストーラ」表示

インストーラが起動します。「**次へ**」ボタンをクリックします。



③ 使用許諾契約の同意

使用許諾契約について、内容をお読みください。契約内容に同意していただけましたら、「**同意する**」にチェックを入れて、「**次へ**」ボタンをクリックします。



④ 実行中アプリケーションの終了

インストール済み製品が実行中の場合は、実行中のアプリケーション名と、そのパス、プロセス ID が表示されます。使用中のアプリケーションをご確認ください。

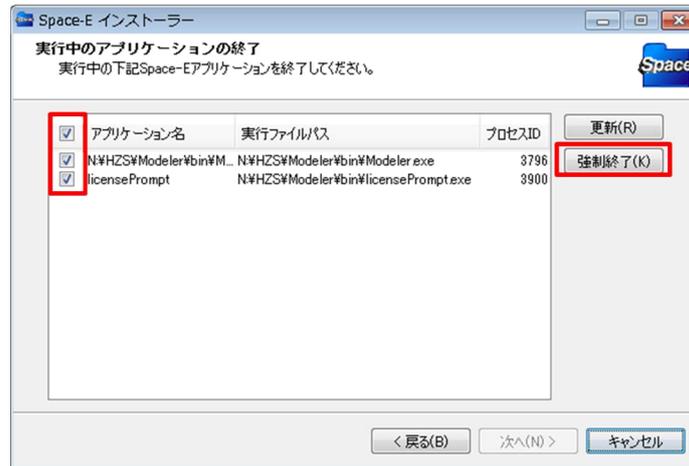
アプリケーションが実行されていない場合は、表示されません。

⑤ Language Pack の選択へお進みください。

すべてのアプリケーションを終了しないとインストールをすることができません。

「更新」ボタンで、アプリケーションの最新実行状況を取得し直すことができます。

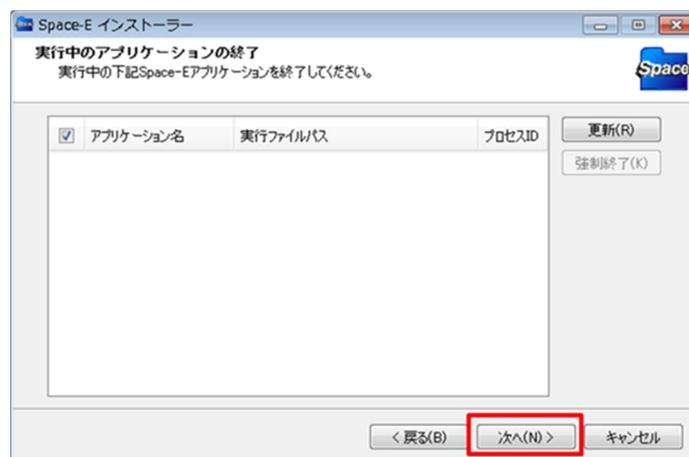
実行中のアプリケーションにチェックを入れて、「強制終了」ボタンで、終了させます。



強制終了の確認パネルが表示されます。「はい」ボタンをクリックします。

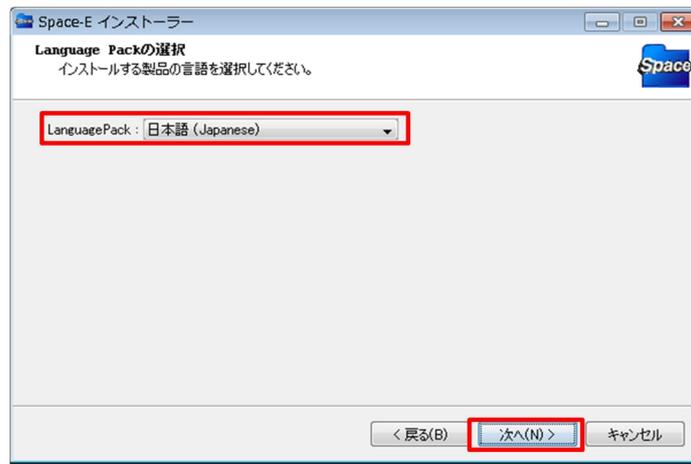


実行中のアプリケーションがないことを確認して、「次へ」ボタンをクリックします。



⑤ Language Pack の選択

インストール対象の Language Pack を表示します。
OS の言語環境に応じて、自動で選択されています。
必要に応じてインストールする Language Pack を選択してください。

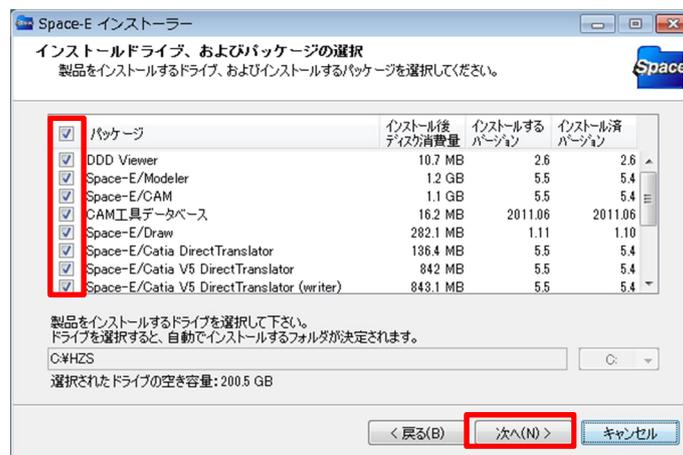


⑥ インストールドライブおよびパッケージの選択

インストール対象製品を表示します。
必要なパッケージにチェックを入れてください。
インストール済み製品と同じバージョン、あるいは古いバージョンを上書きインストールしようとした場合、本当にインストールするかどうかの確認メッセージが表示されます。
「はい」ボタンをクリックします。



ライセンスマネージャーは常にチェックがついており、チェックを外すことはできません。インストールするドライブを選択して、「次へ」ボタンをクリックします。



※注意

「次へ」ボタンが押せない場合は、ディスクの空き容量をご確認下さい。

<Space-E/Mold をインストールする場合>

Space E/Mold は Space-E/Modeler と統合されました。パッケージリストに Space E/Mold は表示されません。

Space-E/Modeler を選択してインストールしてください。

<Space-E/Modeler と Space-E/Draw をインストールする場合>

Space-E/Draw と Space-E/Modeler と同時にインストールするか、Space-E/Draw をインストールした後、Space-E/Modeler をインストールしてください。

<Space-E/CAM Hybrid 2D をインストールする場合>

Space-E/CAM、Space-E/Modeler、Space-E/STEP DirectTranslator を選択してインストールしてください。

<Space-E Direct Translator をインストールする場合>

Space-E/Modeler と Space-E Direct Translator を同時にインストールするか、Space-E/Modeler をインストールした後で Space-E Direct Translator をインストールしてください。

インストールで消費するディスクサイズを表示します。

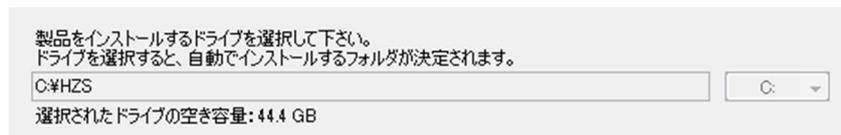
インストールされるバージョンとインストール済みバージョンを表示します。

インストールされていない場合は、未インストールと表示されます。

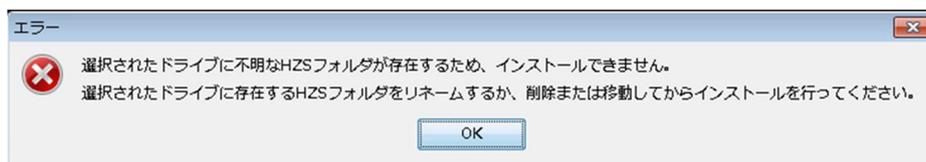
<input checked="" type="checkbox"/>	パッケージ	インストール後 ディスク消費量	インストールする バージョン	インストール済 バージョン
<input checked="" type="checkbox"/>	DDD Viewer	10.7 MB	2.6	未インストール
<input checked="" type="checkbox"/>	Space-E/Modeler	1.1 GB	5.4	5.4
<input checked="" type="checkbox"/>	Space-E/CAM	1.1 GB	5.4	未インストール
<input checked="" type="checkbox"/>	CAM工具データベース	16.2 MB	2011.06	未インストール

インストール先のドライブ選択を行うためのコンボボックスを表示します。

すでにインストールした後の追加インストール時は、前回のインストールドライブが選択されています。選択されているドライブの空き容量が表示されます。

**※注意**

インストールしようとしているドライブに正規にインストールされていない H2S フォルダが存在している場合、エラーメッセージが表示されます。過去にアンインストールを実施し、H2S フォルダが残っている場合などは、あらかじめ H2S フォルダをリネームするか、削除または移動を行ってからインストールを行ってください。

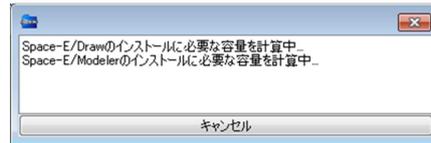


⑦ 容量計算

バージョンアップインストール時には、インストールに必要な容量計算の確認パネルが表示されます。容量計算を行う場合は「はい」をクリックします。

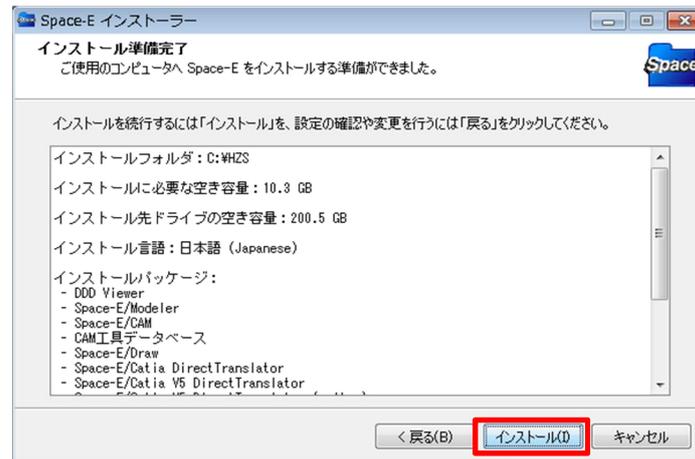


「はい」をクリックした場合、計算中パネルが表示されます。

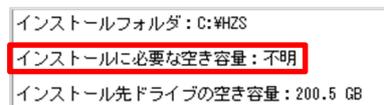


⑧ インストールパッケージ一覧

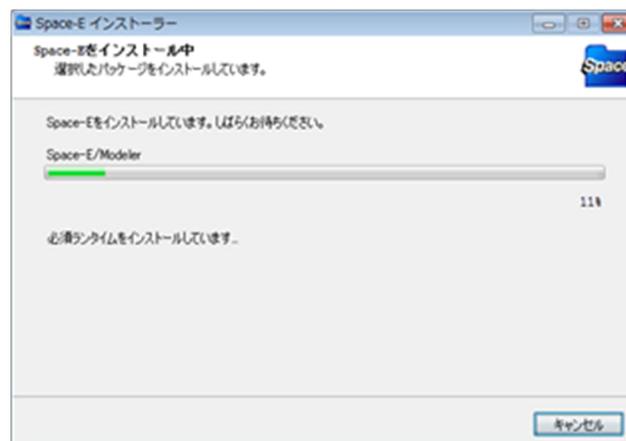
インストールする Language Pack とパッケージの一覧が表示されます。内容を確認して、「インストール」ボタンをクリックします。



⑦で「いいえ」をクリックした場合、「インストールに必要な空き容量」は「不明」と表示されます。



インストールが始まります。



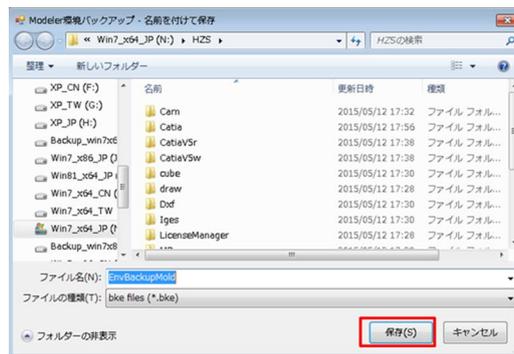
⑨ *Space-E/Modeler* の環境バックアップ

Space-E/Modeler のバージョンアップインストールをした場合は、これまでの環境をバックアップするかどうかの確認パネルが表示されます。

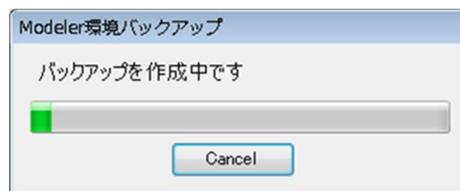
バックアップする場合は「はい」ボタンを、しない場合は「いいえ」ボタンをクリックします。「いいえ」ボタンをクリックした場合、⑩ *Space-E/CAM* の環境バックアップまで進みます。



バックアップファイルの名前を決定し、「保存」ボタンをクリックします。



しばらく待ちます。



「OK」ボタンをクリックします。



Modeler をインストールします。しばらく待ちます。



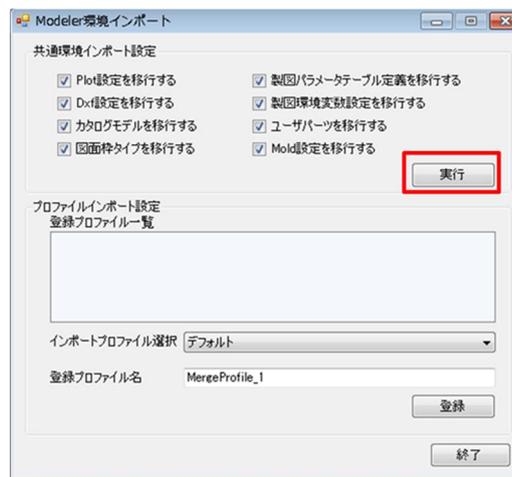
Modeler の言語環境を設定します。



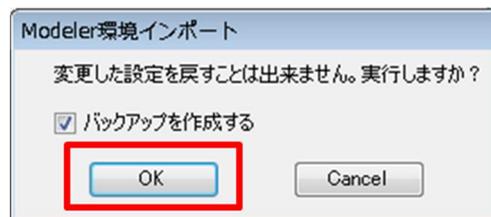
バックアップファイルを展開します。



共通インポート設定ではインポートしたい項目にチェックを押して「実行」ボタンをクリックします。



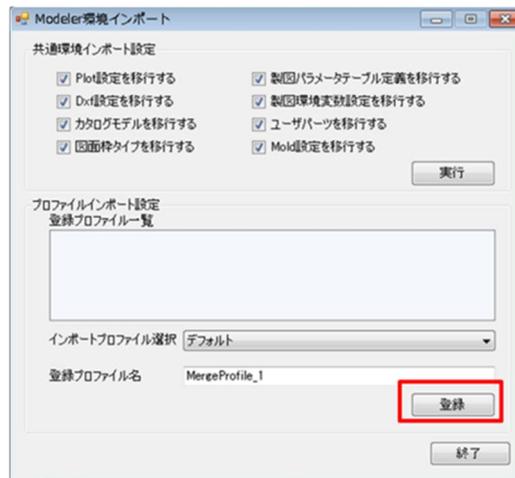
「OK」ボタンをクリックします。



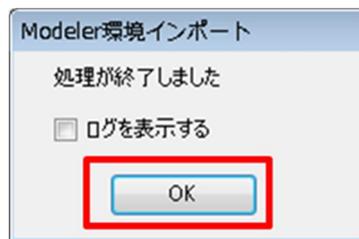
「OK」ボタンをクリックします。



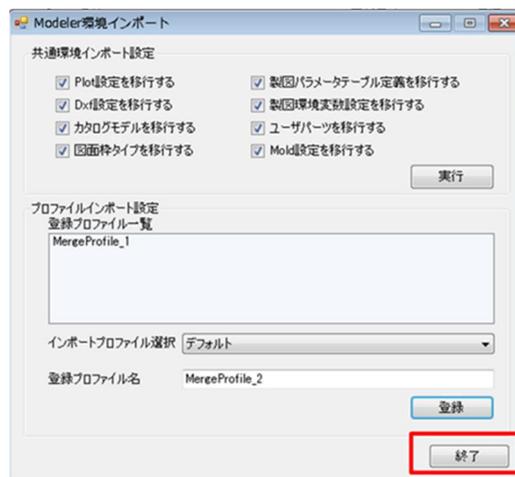
プロファイルインポート設定では、インポートしたいプロファイル名を選択し、インポート後のプロファイル名を記入した後に「登録」ボタンをクリックします。



「OK」ボタンをクリックします。



すべての作業が終わったら「終了」ボタンをクリックします。



Modeler のインストールが終了し、引き続き、選択した他のパッケージをインストールします。

⑩ Space-E/CAMの環境バックアップ

Space-E/CAMバージョンアップインストールをした場合は、これまでの環境をバックアップするかどうかの確認パネルが表示されます。
バックアップする場合は「はい」ボタンを、しない場合は「いいえ」ボタンをクリックします。



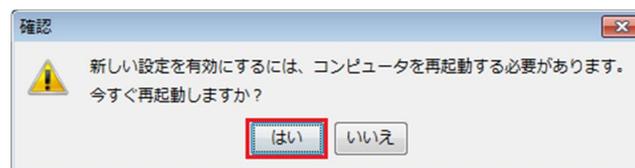
⑪ インストール完了

「完了」ボタンをクリックします。



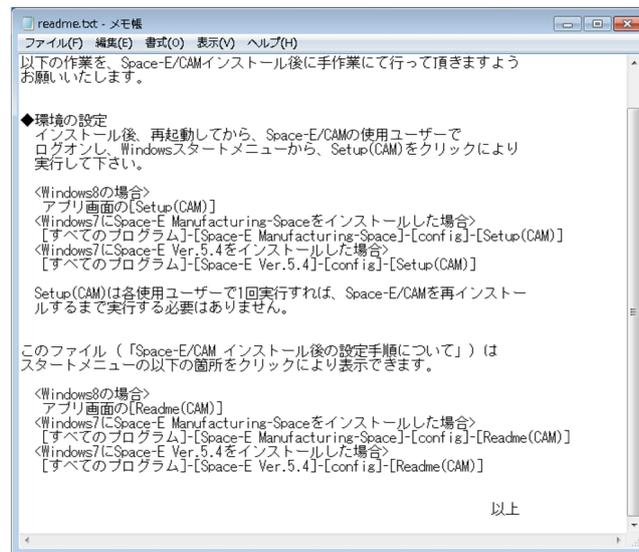
⑫ コンピュータの再起動

「はい」ボタンをクリックして、PCを再起動します。



これでインストールは終了しました。

【注意】 Space-E/CAM インストール後、次のように表示される Readme を参照してセットアップを行ってください。Readme は、スタートメニューの[スタート]-[プログラム]-[Space-E ver.5.5]-[Config]-[Readme(CAM)] から表示できます。



【注意】 Space-E/CAM 環境のバックアップを行っても自動的に環境の挿入、復元は行いません。コンピュータを再起動後、HZS¥cam 以下の*.SV フォルダから必要に応じてファイルをコピーいただく必要があります。

- ・ポスト(*.xmp)ファイルや、カスタマイズ関連ファイルなど
 - (¥HZS¥cam¥config.SV → ¥HZS¥cam¥config)
- ・工具パレット (¥HZS¥cam¥tool.SV → ¥HZS¥cam¥tool)
- ・ホルダパレット (¥HZS¥cam¥hdr.SV → ¥HZS¥cam¥hdr)
- ・機能パレット (¥HZS¥cam¥func.SV → ¥HZS¥cam¥func)
- ・工程パレット (¥HZS¥cam¥proc.SV → ¥HZS¥cam¥proc)
- ・テンプレートファイル (¥HZS¥cam¥template.SV → ¥HZS¥cam¥template)
- ・ワイヤ関連ファイル (¥HZS¥cam¥wire.SV → ¥HZS¥cam¥wire)
- ・CamWeb テンプレート
 - (¥HZS¥Cam¥plugin.SV¥CamWeb¥template → ¥HZS¥Cam¥plugin¥CamWeb¥template)

アンインストール

Space-E Ver.5.5 のアンインストール

Space-E Ver.5.5 に含まれるシステムを1つのアンインストーラに統合しました。
アンインストーラのパネル上でシステムを選択してアンインストールします。

Administrator または Admin 権限を持つユーザーでログオンします。
アンインストールするコンポーネントを起動します。
コンポーネントをアンインストール後、PC を再起動します。

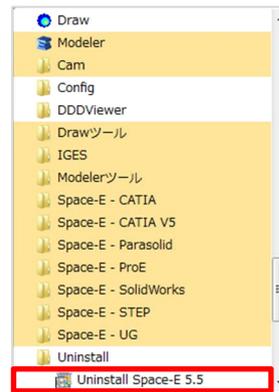
① アンインインストーラの起動

【Windows 7 の場合】

【スタート】-【すべてのプログラム】-

【Space-E ver.5.5】-

【Uninstall】-【Uninstall Space-E 5.5】をクリックします。

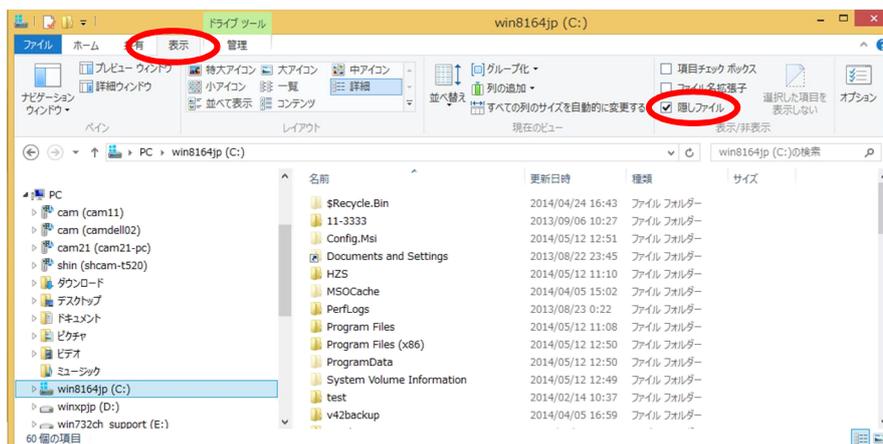


【Windows 8, Windows 8.1 の場合】

【アプリ画面】-【Uninstall Space-E 5.5】をクリックします。

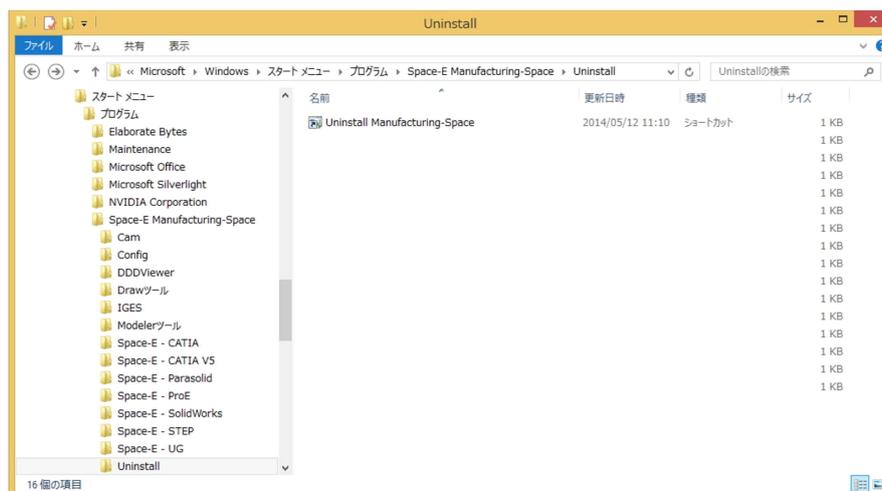


アプリ画面に【Uninstall】アイコンが無い場合、エクスプローラを開き、「表示」より「隠しファイル」のチェックを付けます。



下記のフォルダに移動します。

C:\ProgramData\Microsoft\Windows\スタートメニュー\プログラム\Space-E Ver.5.5\Uninstall



② 「Space-E アンインストーラ」表示

アンインストーラが起動します。「次へ」ボタンをクリックします。



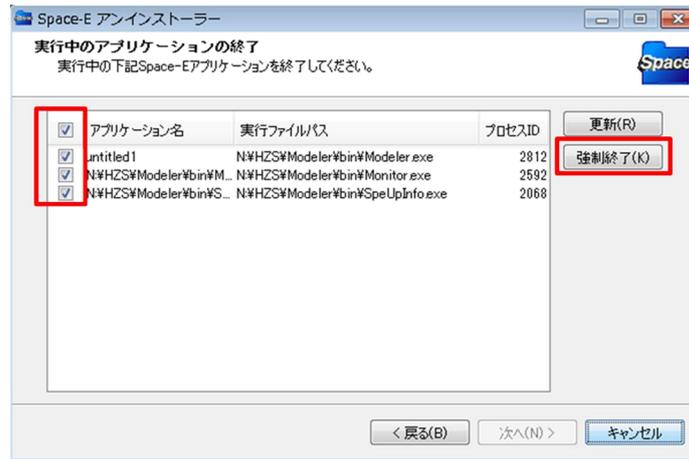
③ 実行中アプリケーションの終了

インストール済み製品が実行中の場合は、実行中のアプリケーション名と、そのパス、プロセス ID が表示されます。使用中のアプリケーションをご確認ください。

アプリケーションが実行されていない場合は、表示されません。

④ 削除するパッケージの選択へお進みください。

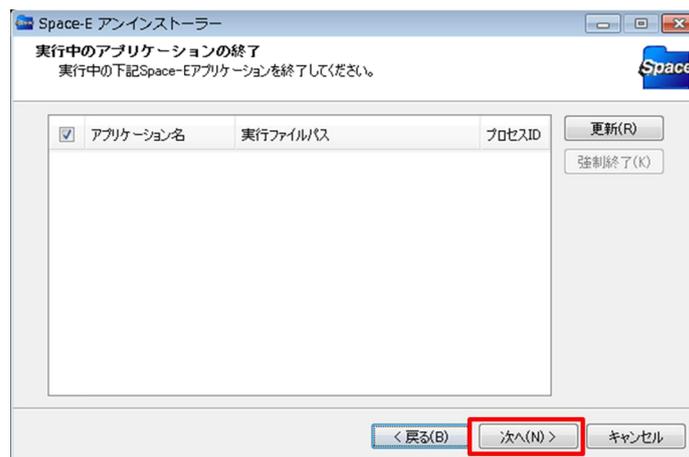
すべてのアプリケーションを終了しないとアンインストールをすることができません。「更新」ボタンで、アプリケーションの最新実行状況を取得し直すことができます。実行中のアプリケーションにチェックを入れて、「強制終了」ボタンで、終了させます。



強制終了の確認パネルが表示されます。「はい」ボタンをクリックします。



実行中のアプリケーションがないことを確認して、「次へ」ボタンをクリックします。



④ 削除するパッケージの選択

インストール済みパッケージと、そのバージョンを表示します。
アンインストールするパッケージにチェックを入れてください。

※ライセンスマネージャーは常にチェックがついていますが、アンインストールされません。
すべてのパッケージをアンインストールするとライセンスマネージャーもアンインストールされます。

※Space-E /ModelerとSpace-E /Direct Translator がインストールされている場合、Space-E /Modeler のみをアンインストールできません。Space-E /Direct Translator にチェックをつけた後、Space-E /Modeler にチェックをつけて、Space-E /Direct Translator およびSpace-E /Modeler をアンインストールしてください。

削除するパッケージを選択して、「次へ」ボタンをクリックします。

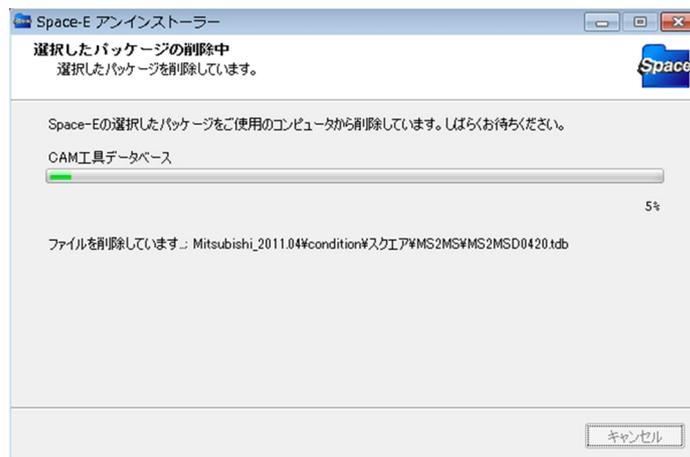


⑤ アンインストールパッケージ一覧

アンインストールするパッケージが表示されます。
「削除」ボタンをクリックします。



アンインストールが始まります。



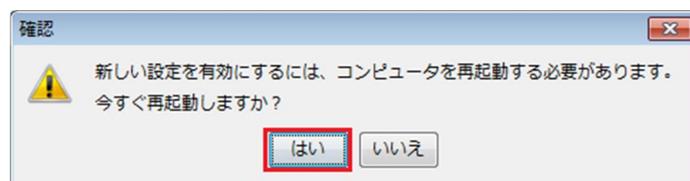
⑥ アンインストール完了

「完了」ボタンをクリックします。



⑦ コンピュータの再起動

「はい」ボタンをクリックして、PCを再起動します。



Space-E Ver.5.3 以前のアンインストール

Space-E Ver.5.3 以前は、システムごとにアンインストーラがあります。
1 つずつ起動してアンインストールします。

●Space-E/Modeler, Mold, CAM, CAM Hybrid 2D, Direct Translator のアンインストール

Administrator または Admin 権限を持つユーザーでログオンします。
アンインストールするコンポーネントを起動します。
コンポーネントをアンインストール後、PC を再起動します。

① アンインストーラの起動

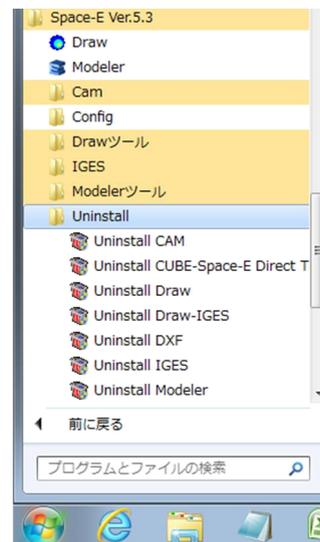
【WindowsXP、Windows 7 の場合】

[スタート]-[すべてのプログラム]- [Space-E Ver.] -[Uninstal]**から

アンインストールする以下のコンポーネントを選択し、1 つずつアンインストールを行います。
インストール済みのシステムによって表示されるコンポーネントが異なります。

アンインストールする際のコンポーネント

Modeler
Mold (※ Ver.5.2.2 以前のお客様のみ)
CAM
IGES
DXF
CUBE-Space-E Direct Translator
Space-E - CATIA Direct Translator
Space-E - CATIA V5 Direct Translator
Space-E - CATIA V5 Direct Translator (writer)
Space-E - Parasolid Direct Translator
Space-E - Pro/E Direct Translator
Space-E - SolidWorks Direct Translator
Space-E/STEP
Space-E - UG Direct Translator
Space-E - Ideas Direct Translator
Exceed6113 (※ Ver.2.3 以前のお客様のみ)



コンポーネントをアンインストールした後は、必ず再起動してください。

※Space-E Ver.5.3 で、Mold は Modeler と統合されました。Space-E Ver.5.3 は Modeler をアンインストールすると Mold もアンインストールされます。

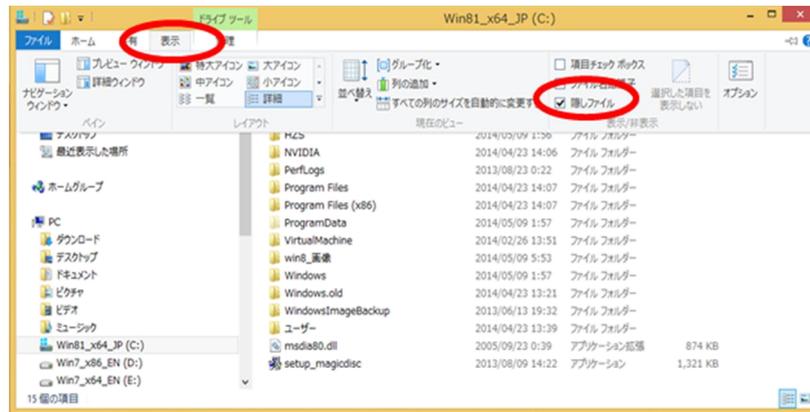
※Space-E Ver.2.3 以前のバージョンをご使用の場合には、Exceed6113 をアンインストールしてください。アンインストール後、エクスプローラで Exceed6113 フォルダ(¥HZS¥Exceed6113)を削除してください。

※「CUBE-Space-E Direct Translator」をアンインストールすると、Space-E 上で DXF 変換ができなくなります。

【Windows8、Windows8.1の場合】



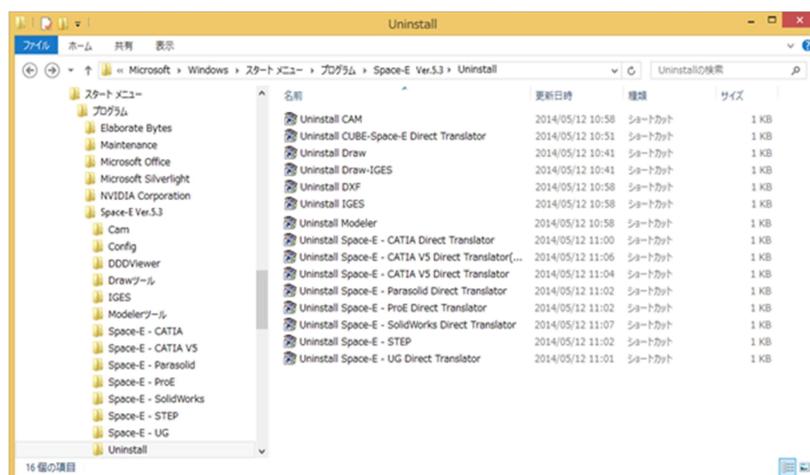
アプリ画面に[Uninstal]アイコンが無い場合
 エクスプローラを開き、「表示」より「隠しファイル」のチェックを付けます。



下記のフォルダに移動します。

C:\ProgramData\Microsoft\Windows\Start Menu\Programs\Space-E V*.*/Uninstall

アンインストールする以下のコンポーネントを選択し、1 つずつアンインストールを行います。



コンポーネントをアンインストールした後は、必ず再起動してください。

● Space-E/Draw のアンインストール

Administrator または Admin 権限を持つユーザーでログオンします。
アンインストールするコンポーネントを起動します。
コンポーネントをアンインストール後、PC を再起動します。

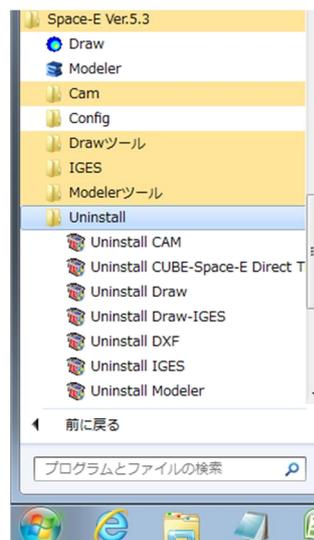
① アンインストールの起動

【WindowsXP、Windows 7 の場合】

[スタート]-[すべてのプログラム]- [Space-E Ver.*.*] -[Uninstal]から
アンインストールする以下のコンポーネントを選択し、1 つずつアンインストールを行います。

アンインストールする際のコンポーネント

Draw
Draw-IGES
Exceed6113 (※ Ver.1.2 以前のお客様のみ)

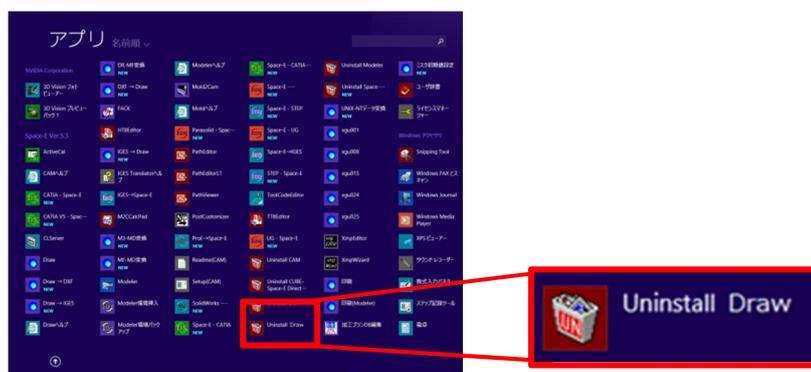


コンポーネントをアンインストールした後は、必ず再起動してください。

Space-E/Draw Ver.1.2 以前のバージョンを使用している場合は Exceed6113 をアンインストールしてください。Exceed のアンインストール後、エクスプローラで¥HZS¥Exceed6113 フォルダを削除してください。

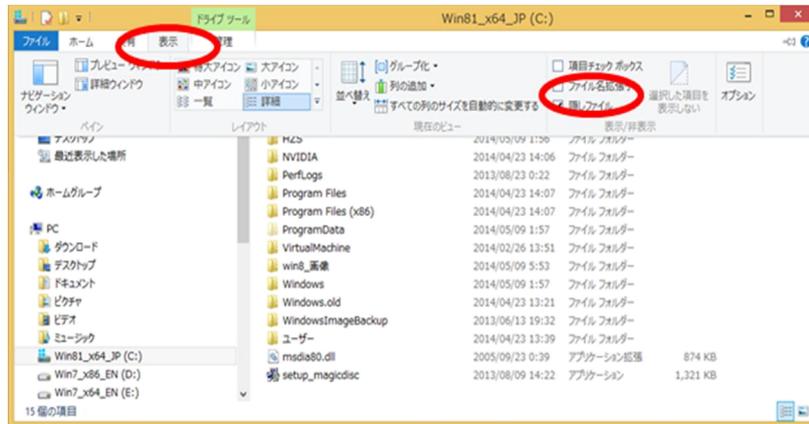
【Windows8、Windows8.1 の場合】

アプリ画面から起動します。



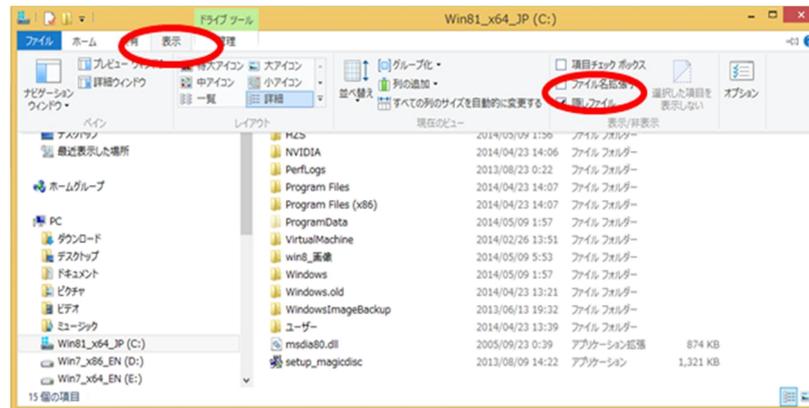
アプリ画面に[Uninstal]アイコンが無い場合

エクスプローラを開き、「表示」より「隠しファイル」のチェックを付けます。



アプリ画面に[Uninstal]アイコンが無い場合

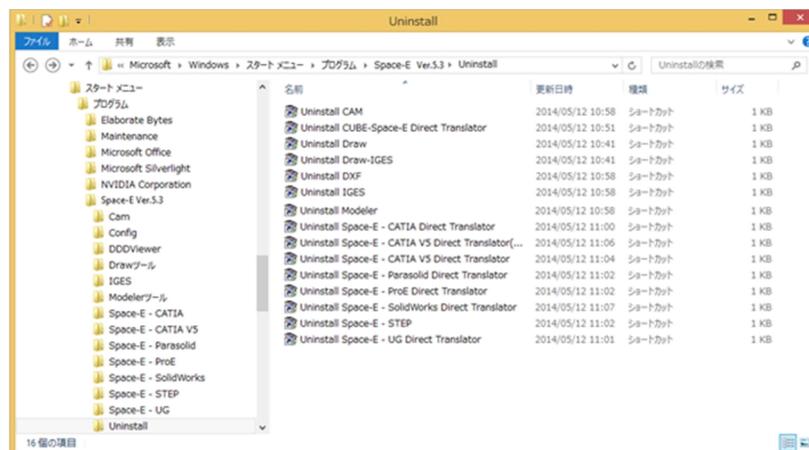
エクスプローラを開き、「表示」より「隠しファイル」のチェックを付けます。



下記のフォルダに移動します。

C:\ProgramData\Microsoft\Windows\Start Menu\Programs\Space-E V*.*/Uninstall

アンインストールする以下のコンポーネントを選択し、1 つずつアンインストールを行います。



コンポーネントをアンインストールした後は、必ず再起動してください。

Space-E ライセンス登録

概要

Space-E を起動するためにはライセンスキーが必要です。

Space-E を PC にインストールした後に、「マシン固有 ID」(PC 固有の ID)を取得し、この ID をもとに各システムのライセンスキーを発行します。

Space-E のインストールにはライセンスが不要です。

ライセンスの取得は、「Space-E ライセンス申請.txt」をライセンス発行窓口(NewID@nttd-es.co.jp)までお送りください。※増設分のライセンス申請は、弊社担当営業へメールでお送りください。

PC に OS をインストールした際にネットワークカードの認識などに違いが出た場合や、PC のハードウェア構成が変更された場合、マシン固有 ID が変更されることがあります。この場合、ライセンスキーを再発行する必要があります。

Space-E ライセンス登録

Space-E をインストールすると、ライセンスマネージャーもインストールされます。

また、メディアからライセンスマネージャーを実行することもできます。

ライセンスの構成には通常のノードロックライセンス、ネットワークライセンスという形態があります。

(ノードロックライセンスの場合)

- (1) ライセンスマネージャーを実行すると、マシン固有 ID が表示されます。
- (2) マシン固有 ID を「テキスト保存」ボタンで「ライセンス申請.txt」に保存し、テキストファイルをライセンス発行窓口(NewID@nttd-es.co.jp)までお送りください。
※増設分のライセンス申請は、弊社担当営業へメールでお送りください。
- (3) e-support ページより、ライセンスキーを取得ください。
※増設分のライセンスは、弊社より発行したライセンスキーをお送りいたします。
- (4) 再度上記のライセンスマネージャーを起動し、ライセンスキーを入力してライセンスを登録します。

(ネットワークライセンスの場合)

- (1) ネットワークサーバをインストールします。
- (2) ライセンスサーバでライセンスマネージャーを実行するとマシン固有 ID が表示されます。
(ライセンスマネージャーはメディア上から実行が可能です。)
- (3) マシン固有 ID を「テキスト保存」ボタンで「ライセンス申請.txt」に保存し、テキストファイルをライセンス発行窓口(NewID@nttd-es.co.jp)までお送りください。
※増設分のライセンス申請は、弊社担当営業へメールでお送りください。
- (4) e-support ページより、ライセンスキーを取得ください。
※増設分のライセンスは、弊社より発行したライセンスキーをお送りいたします。
- (5) ライセンスマネージャーを実行し、ライセンスサーバに対してライセンスキーを入力してライセンスを登録します。
- (6) Space-E アプリケーションを使用する PC でライセンスマネージャーを起動します。
ライセンスサーバのコンピュータ名または IP アドレスを設定してネットワークライセンスを取得するように構成します。

実際の操作

<ノードロックライセンスの場合>

① ライセンスマネージャーの起動

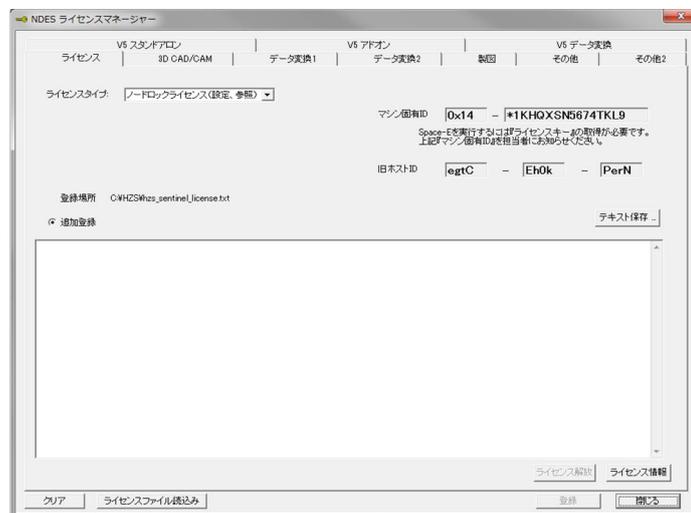
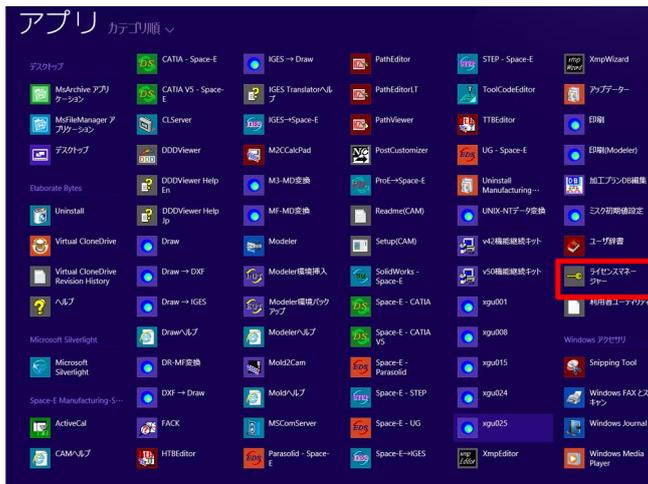
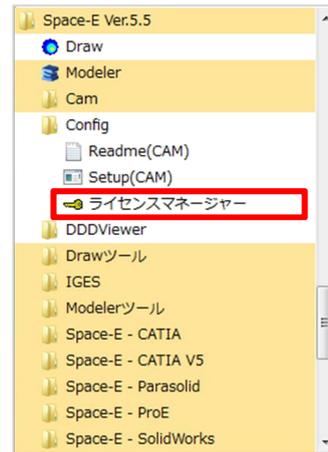
[ライセンスマネージャー]を起動します。

【Windows 7 の場合】

[スタート]-[すべてのプログラム]-[Space-E ver.5.5]-
[Config]-[ライセンスマネージャー]をクリックします。

【Windows8、Windows8.1 の場合】

アプリ画面から起動します。



② ライセンスの取得方法

「テキスト保存...」をクリックし、保存場所を指定して、「マシン固有ID」の情報をテキストファイルで保存します。「NDESライセンス申請.txt」のテキストファイルをライセンス発行窓口 (NewID@nttd-es.co.jp) までお送りください。

※増設分のライセンス申請は、弊社担当営業へメールでお送りください。

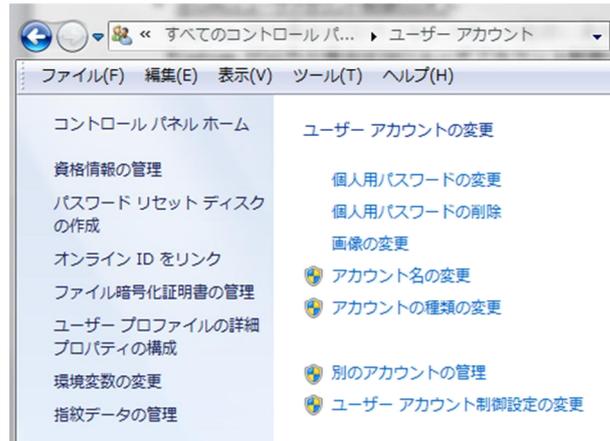
③ ライセンスキーの保存

発行されたライセンスキーをファイルに保存します。

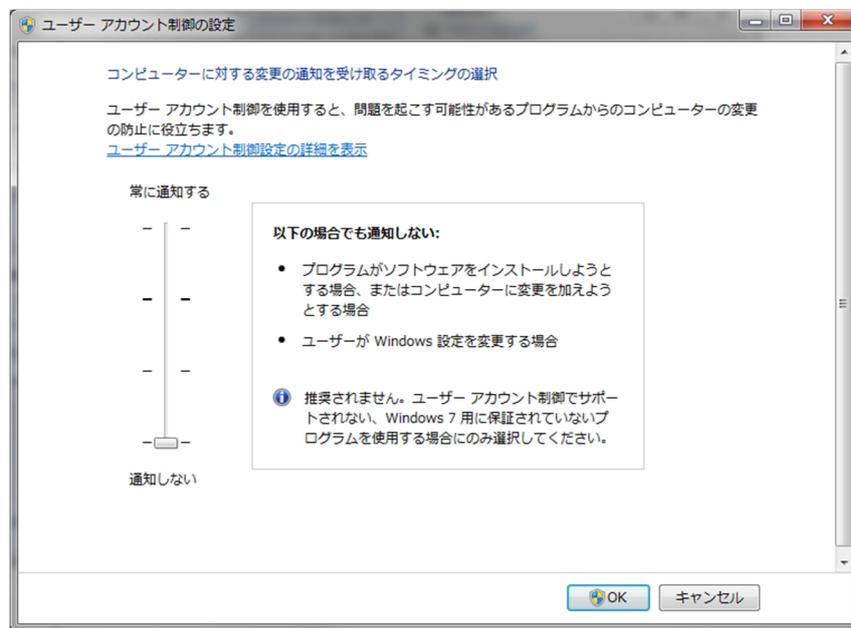
④UAC(ユーザアカウント制御)のオフ

Windows 7の例を示します。

コントロールパネルからユーザアカウントを選択し、ユーザアカウント制御設定の変更を選択します。



設定を「通知しない」(一番下)に設定し、OK をクリックします。



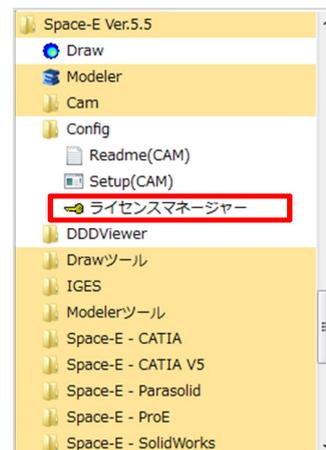
UAC の設定を有効にするため、システムの再起動を行います。

⑤ライセンスキーの登録

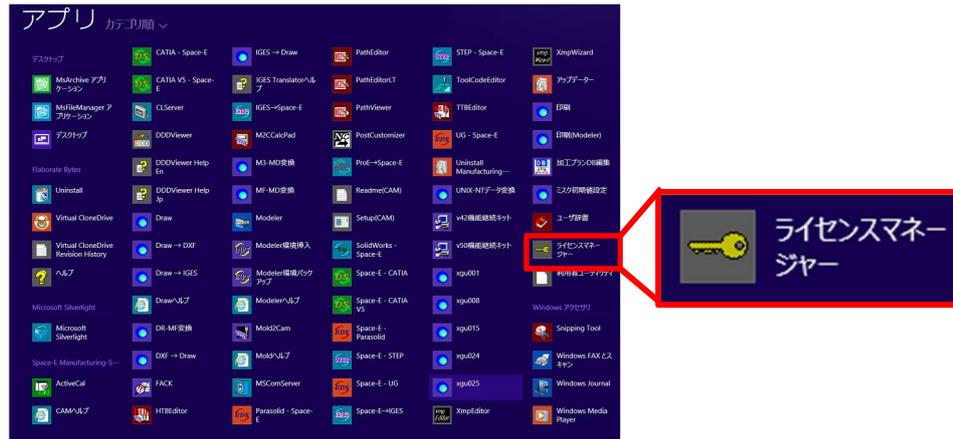
[ライセンスマネージャー]を起動します。

Space-E アプリケーションをインストールした PC でライセンスマネージャーを実行します。

【Windows 7 の場合】



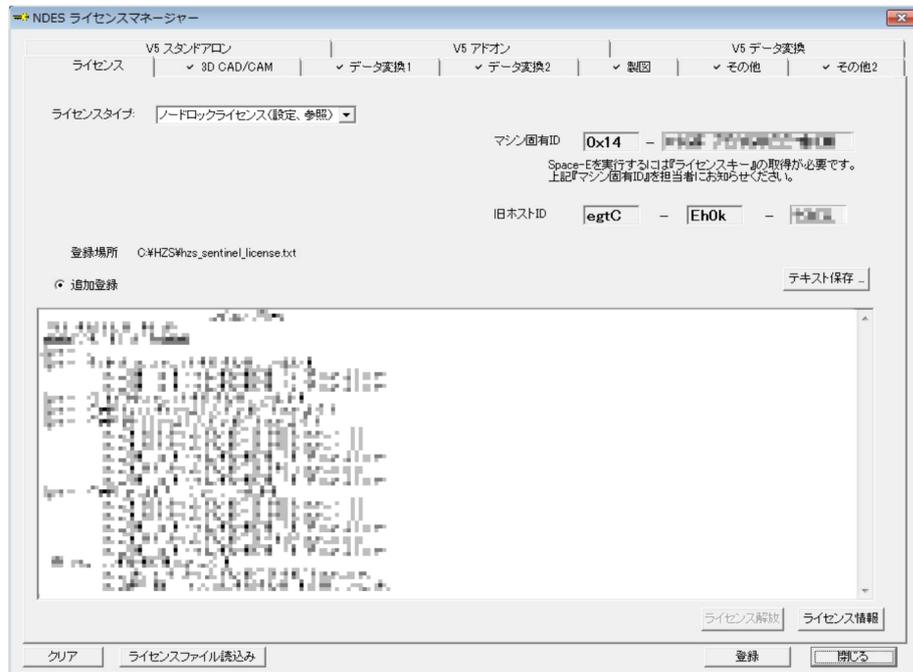
【Windows8、Windows8.1の場合】



[ライセンスファイル読み込み]ボタンをクリックし、発行されたライセンスファイルを指定します(または、ライセンスファイルをドロップする、上部のタブを切り替えて直接入力して登録することも可能です)。

ライセンスキーが入力されると、上部タブにチェックがつきます。

この状態で、「登録」ボタンを押し、ライセンスキーを登録します。



ライセンスがシステムに登録されます。



<ネットワークライセンスの場合>

ライセンスの形態として、「ネットワーク」を選択した場合、アプリケーションをご使用になるPCの設定の他に、ライセンスサーバのインストールが必要になります。

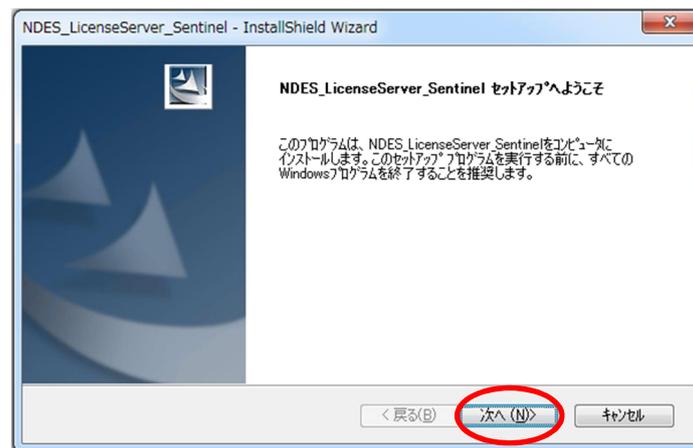
※画面は *Windows 7 Professional+sp1* 環境の場合です。実際の画面構成はご使用の環境によって、微妙に異なる場合があります。

①ライセンスサーバのインストール

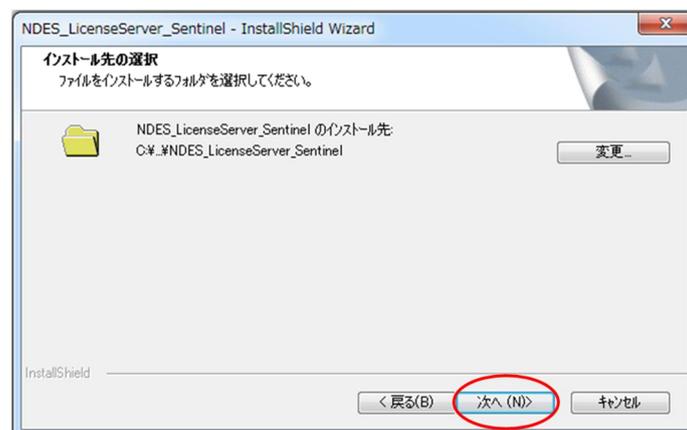
「始めにお読みください」の右の箇所をクリックすると、インストーラが起動します。
起動しない場合は、DVD の LicenseServer フォルダの「SetupLicSrv.exe」を実行してください。



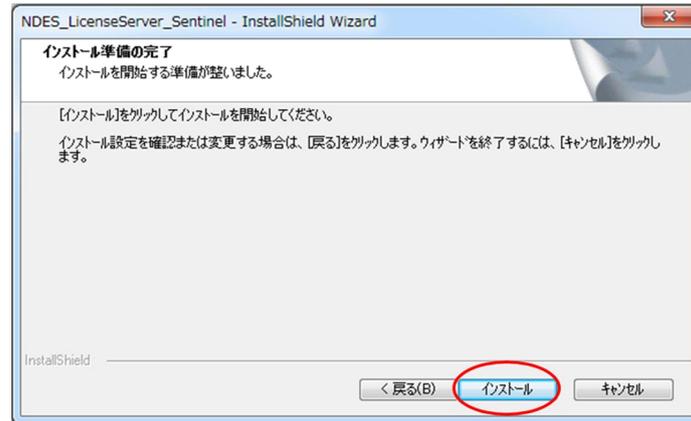
インストールが開始されるので、「次へ」をクリックしてください。
※お使いの環境によっては、ここで警告が表示される場合があります。



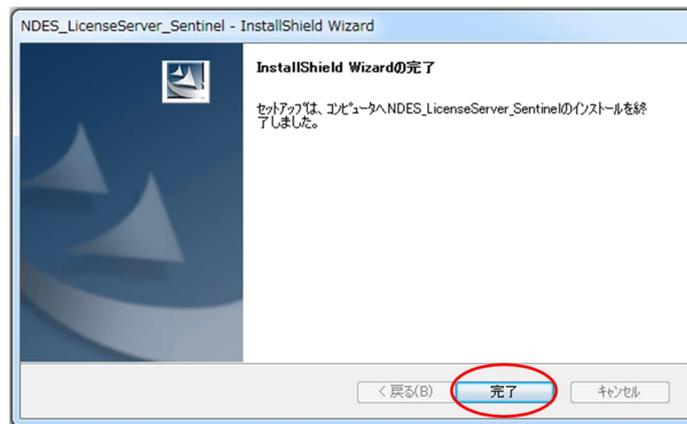
ライセンスサーバのインストール先を選択します。
インストール先を変更したい場合「変更」ボタンをクリックし、インストール先を指定します。
設定が終わったら、「次へ」をクリックしてください。



「インストール」をクリックしてインストールを開始します。



「完了」をクリックしてインストールを完了します。



②ライセンスマネージャーの起動

ライセンスサーバをインストールした PC で、[ライセンス登録管理]を起動します。

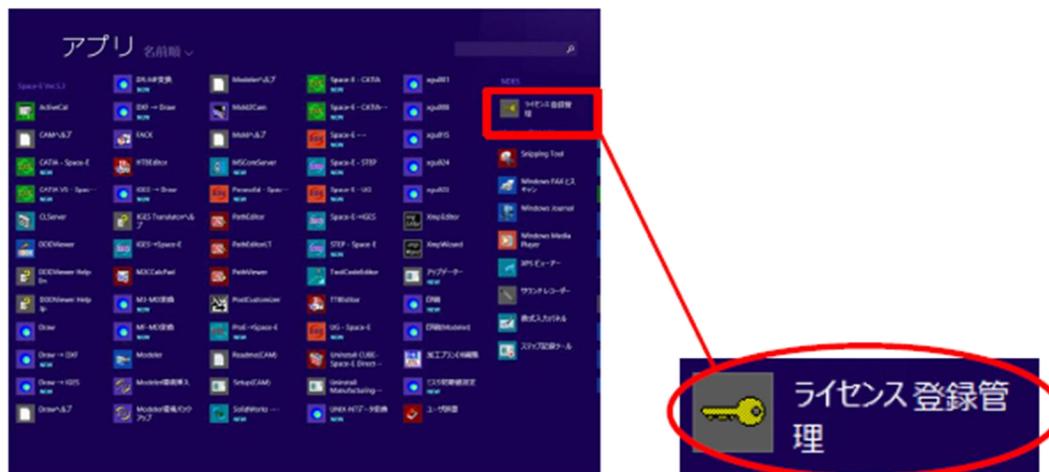
【Windows 7 の場合】

[スタート]-[すべてのプログラム]-

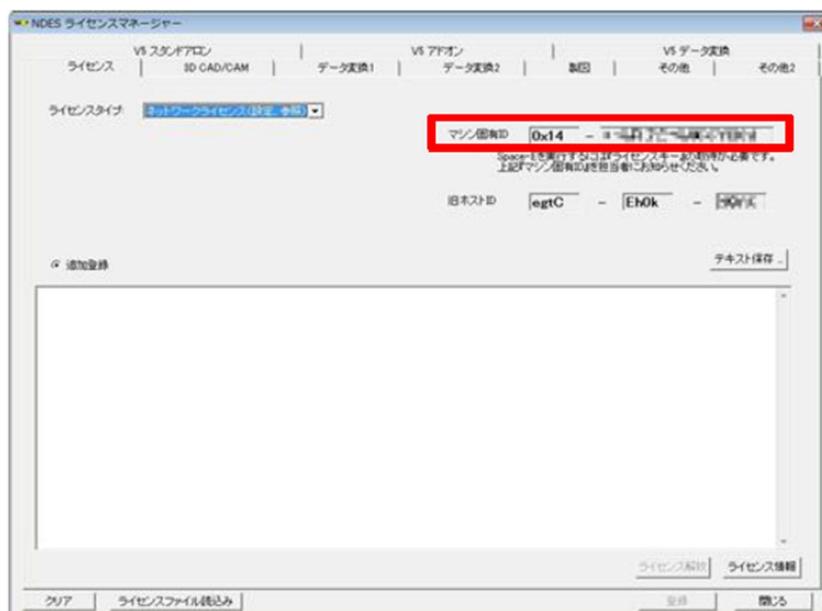
[NDES]-[NDES LicenseServer_Sentinel]-[ライセンス登録管理]をクリックします。



【Windows 8, Windows 8.1 の場合】
アプリ画面から起動します。



マシン固有 ID と、旧 HZS ホスト ID が、右上部に表示されます。

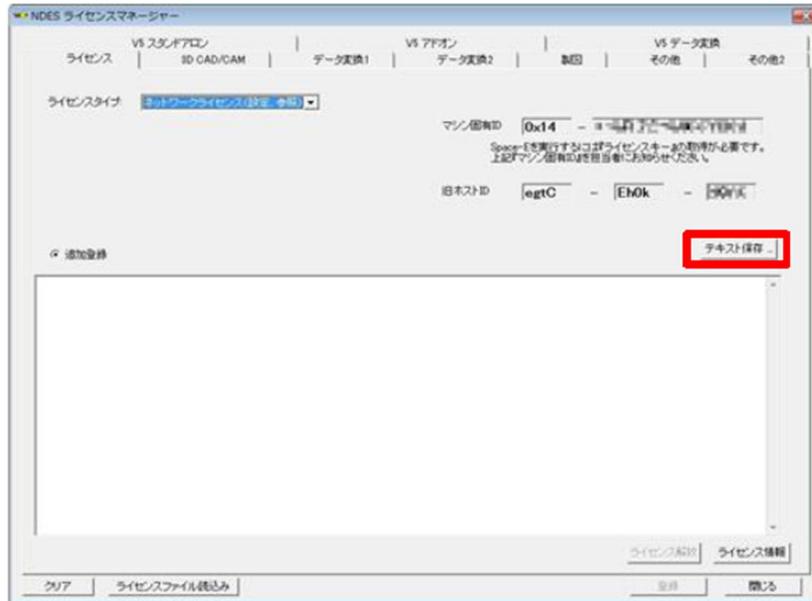


③ライセンスの取得方法

「Space-E ライセンス要求書」に必須事項とマシン固有 ID を記入し、弊社担当営業にお送りください。
「Space-E ライセンス要求書」が発行されます。

④ライセンスキーの保存

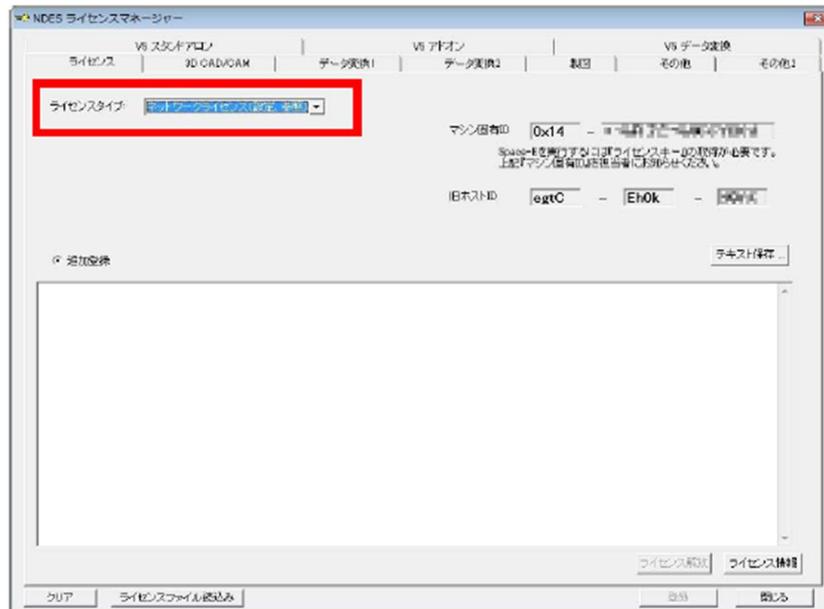
発行されたライセンスをファイルに保存します。



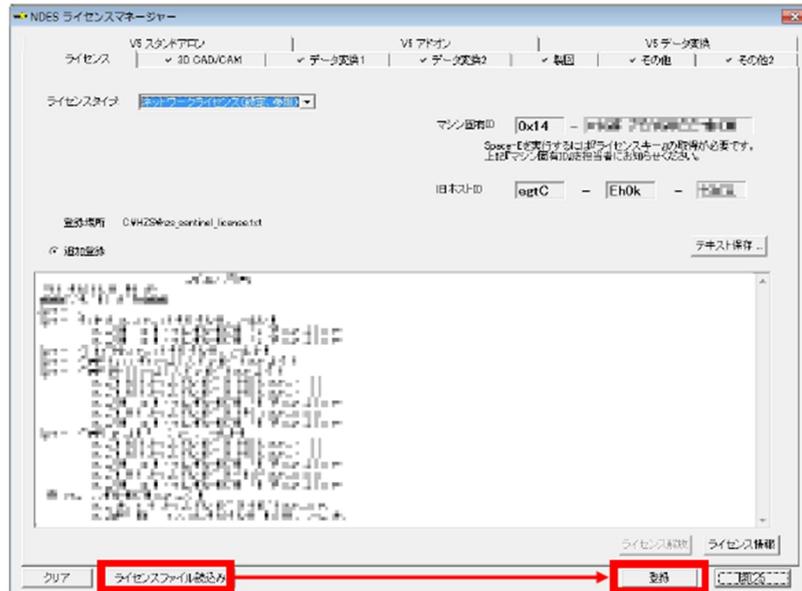
⑤ライセンスの登録

ネットワークライセンスの登録を行います。ライセンスサーバをインストールした PC で、ライセンス登録管理を起動します。

[ライセンスタイプ]を、[ネットワークライセンス(設定、参照)]に設定します。



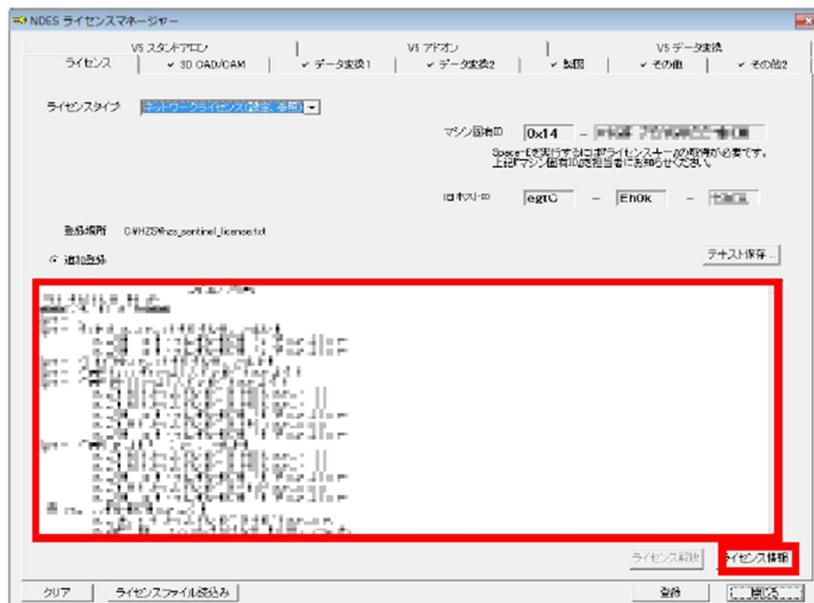
[ライセンスファイル読み込み]ボタンをクリックし、発行されたライセンスファイルを指定します。(または、ライセンスファイルをドロップする、上部のタブを切り替えて直接入力する、も可能です。) ライセンスキーが発行されると、上部タブにチェックが付き、この状態で、「登録」ボタンを押し、ライセンスキーを登録します。



ライセンスが登録されます。



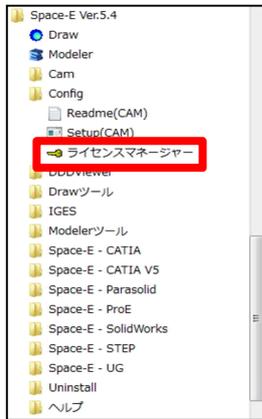
ライセンス登録後、「ライセンスタイプ」を「ネットワークライセンス(設定、参照)」にした状態で、画面右下の「ライセンス情報」をクリックすることで、ライセンスサーバに登録されているライセンス情報を確認できます。



⑥アプリケーション使用 PC の設定

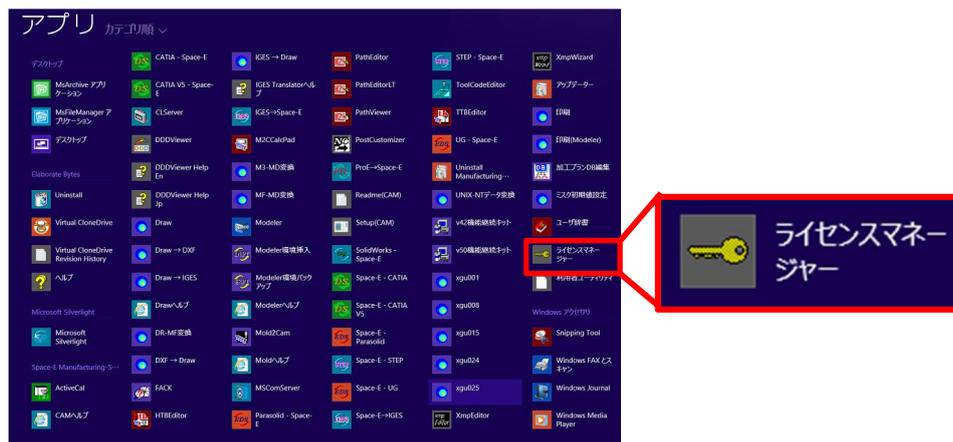
Space-E アプリケーションをインストールした PC でライセンスマネージャー起動します。

【Windows 7 の場合】

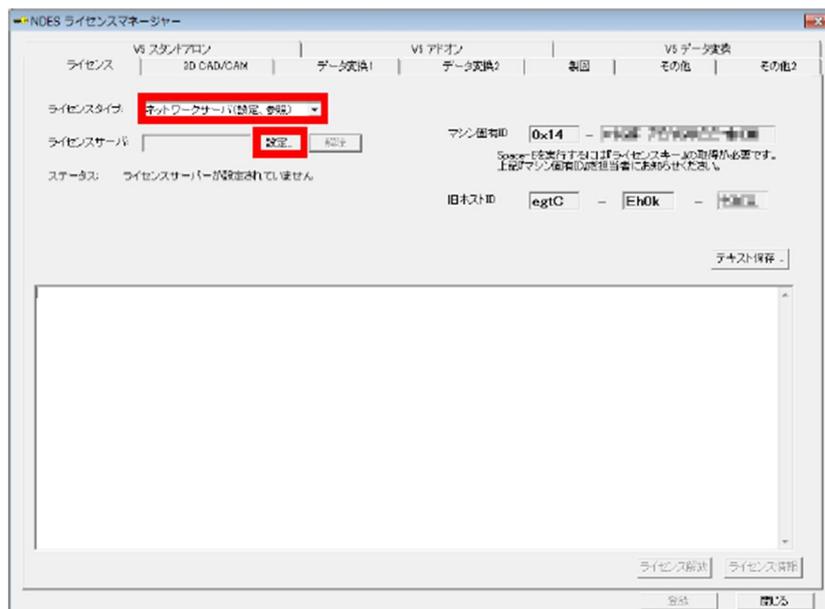


【Windows8、Windows8.1 の場合】

アプリ画面から起動します。



「ライセンスタイプ」から「ネットワークサーバ(設定・参照)」を選択してください。
「ライセンスサーバ」が表示されるので、「設定」ボタンをクリックします。



「ライセンスサーバ」に、ライセンスサーバをインストールしたマシンのコンピュータ名称、または IP アドレスを入力して、OK ボタンをクリックします。



サーバに接続可能であれば、「ステータス」の項目に「設定されているライセンスサーバは有効です。」と表示されます。このときにエラーが表示される場合は、ライセンスサーバとのネットワーク接続などをご確認ください。

エラーメッセージが表示されない場合は、「閉じる」をクリックしてください。



システムの起動と終了

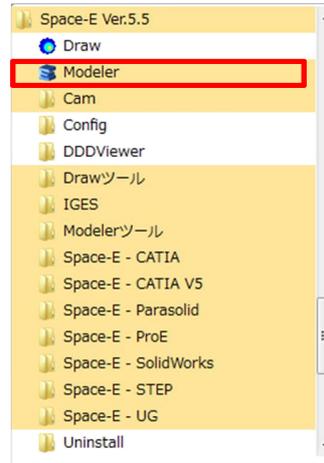
Space-E/Modeler の起動と終了

● Space-E/Modeler の起動と終了

Space-E 用ユーザーでログオンします。
Modeler を起動します。

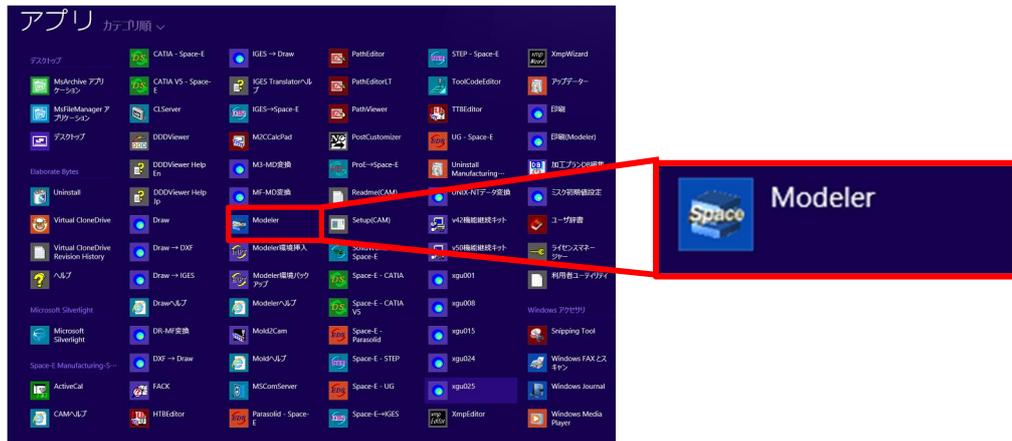
【Windows 7 の場合】

「スタート」→「すべてのプログラム」→
「Space-E ver.5.5」→「Modeler」



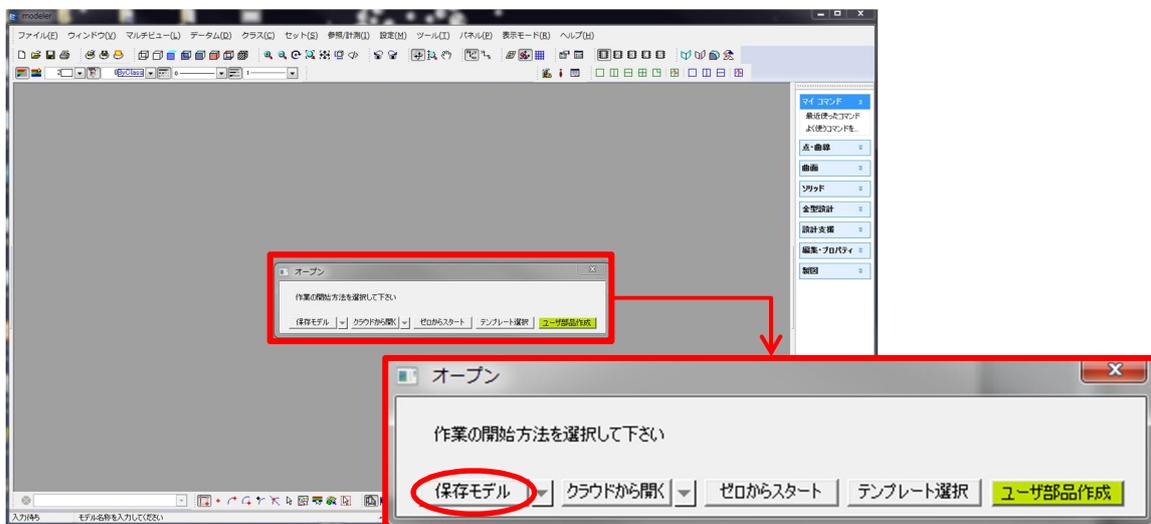
【Windows8、Windows8.1 の場合】

アプリ画面から起動します。

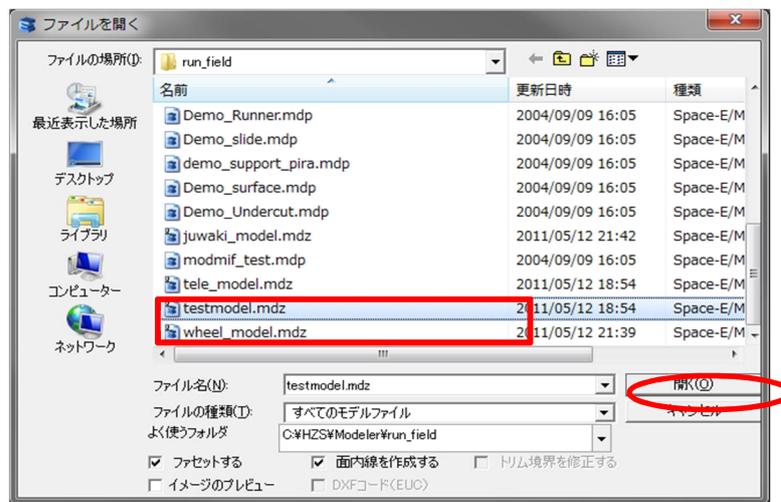


Space-E/Modeler が起動された直後の画面です。

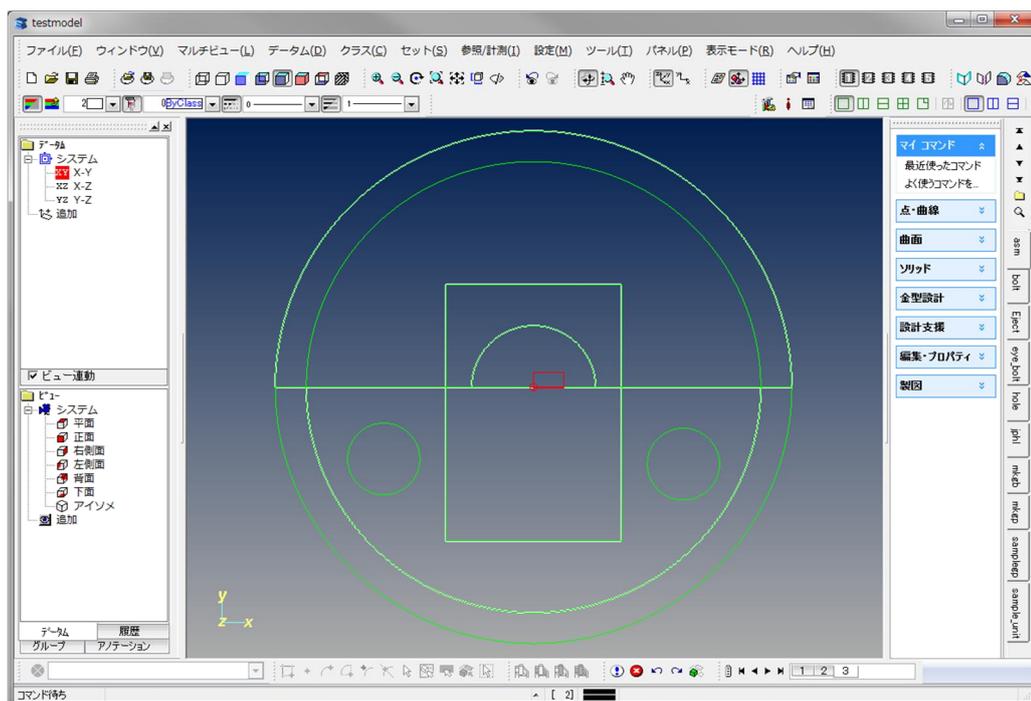
画面中央にモデル呼出しのパネルが表示されます。ここでは「保存モデル」をクリックします。



ファイルを開くダイアログが表示されますので、**testmodel.mdz** を選択して、「開く」をクリックします。



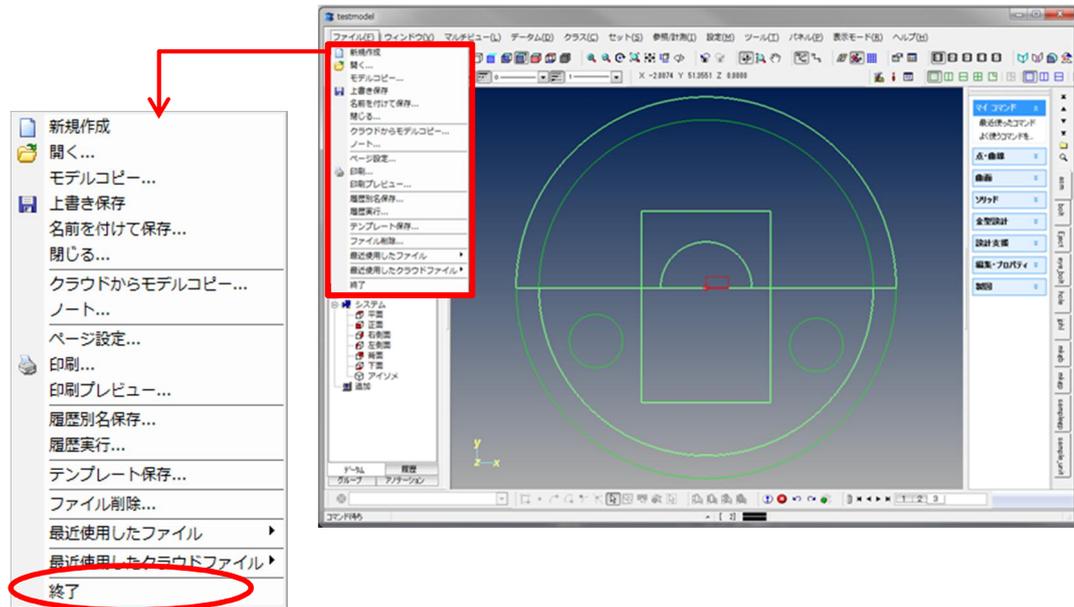
testmodel.mdz が表示されます。



Space-E/Modeler の終了

Space-E/Modeler を終了する前にモデルを保存しているかどうか確認しましょう。

画面左上の補助コマンドの中から「ファイル」→「終了」をクリックします。



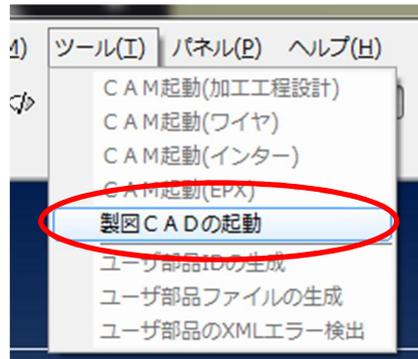
モデルが保存されていない場合、画面の中央にパネルが表示され保存するかを聞いてきます。保存する場合には「はい」を、保存しない場合には「いいえ」をクリックします。



これで Space-E/Modeler は終了します。

● **Space-E/Modeler** から **Space-E/Draw** を起動

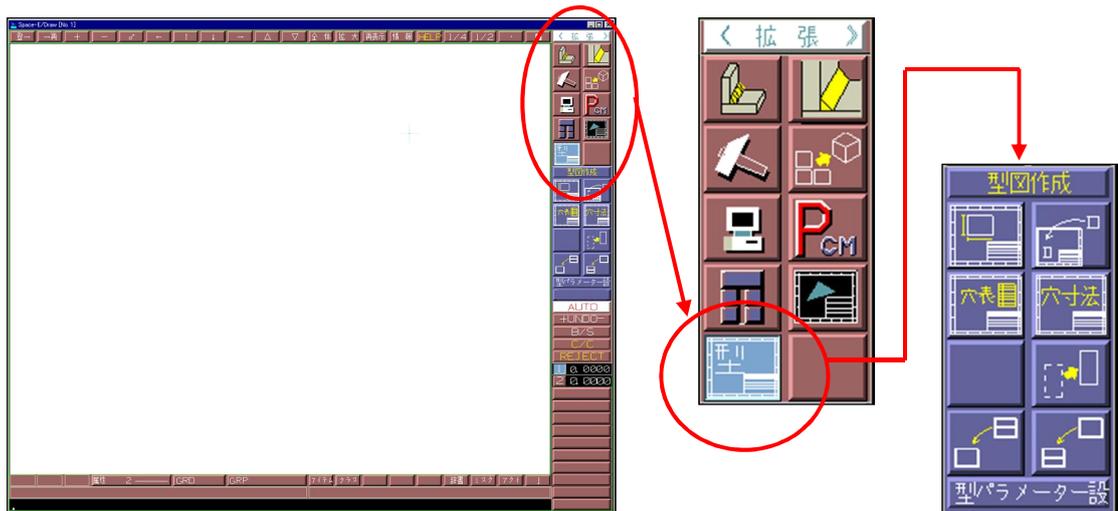
Space-E/Modeler のドラフティングアレンジ機能から、**Space-E/Draw** にデータを渡します。
補助コマンドメニューから「**ツール／製図 CAD の起動**」を選択します。



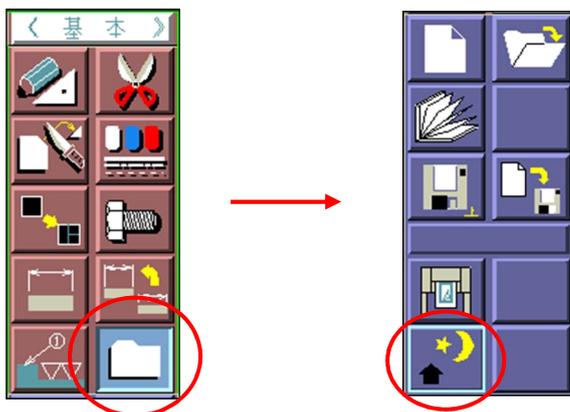
※**Space-E/Modeler** をインストールしてから、**Space-E/Draw** をインストールした場合は、ここで起動できません。対策について、[『付録 Space-E/Modeler が Space-E/Draw より先にインストールされた際の対策』](#)をご参照ください。

Space-E/Draw が起動されます。

メインメニューを《拡張》にします。小分類メニュー《型図作成》に **Space-E/Mold** 用の図面化コマンドがあります。



メインメニューを《基本》に変更し、《ファイル／終了》を選択すると終了します。



● Space-E/IGES の起動と終了

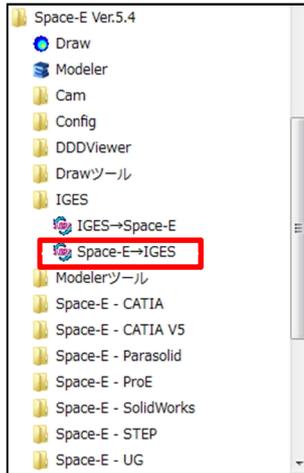
● Space-E → IGES 変換

最初に mdz ファイルを IGES ファイルに変換します。

< 起動 >

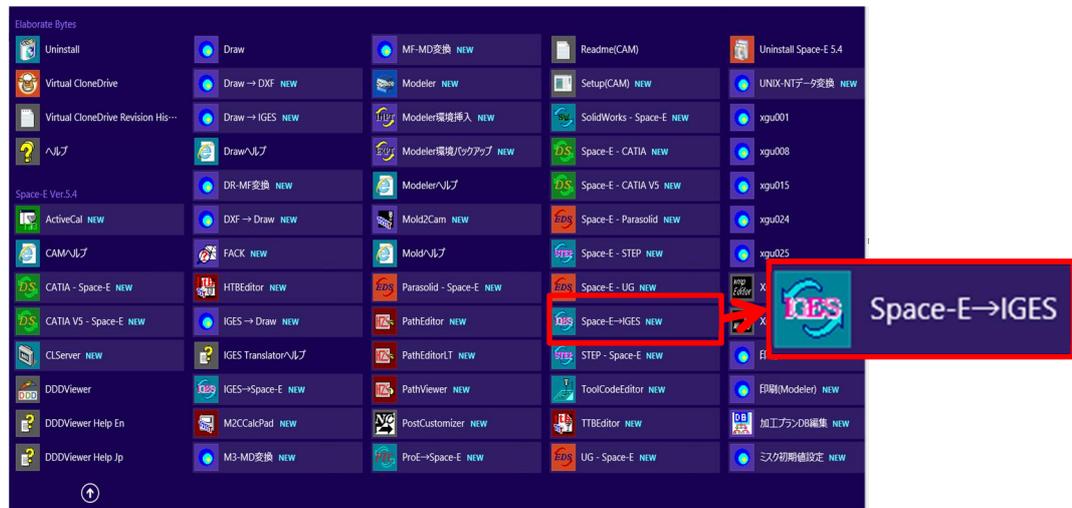
[Space-E→IGES]を起動します。

【Windows 7 の場合】

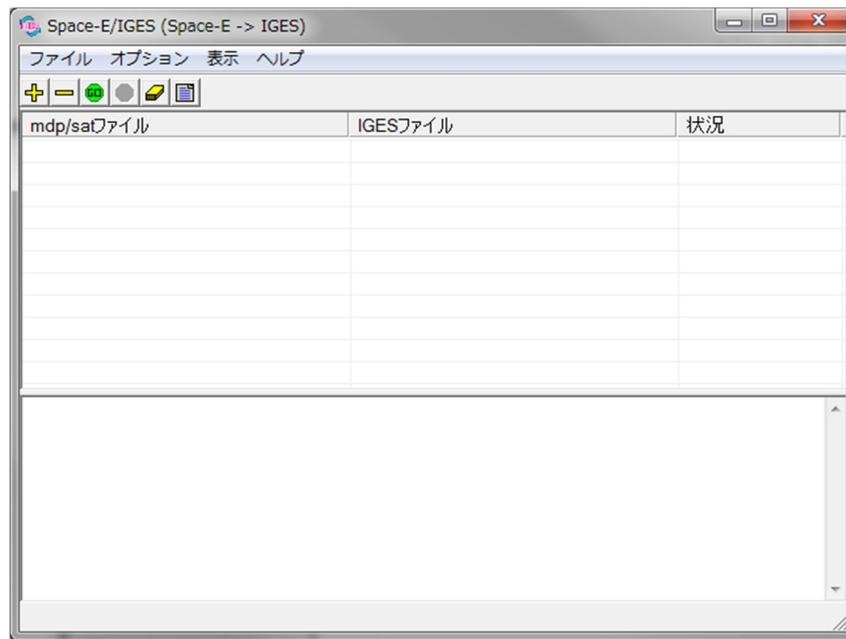


【Windows8、Windows8.1 の場合】

アプリ画面から起動します。

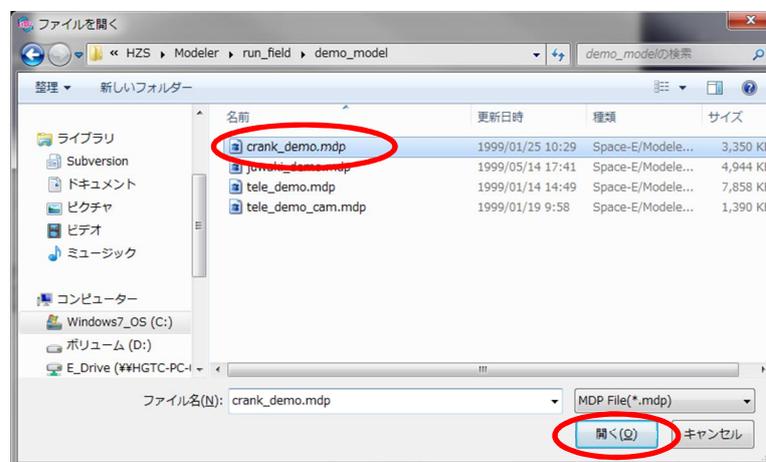


メインウィンドウが表示されます。

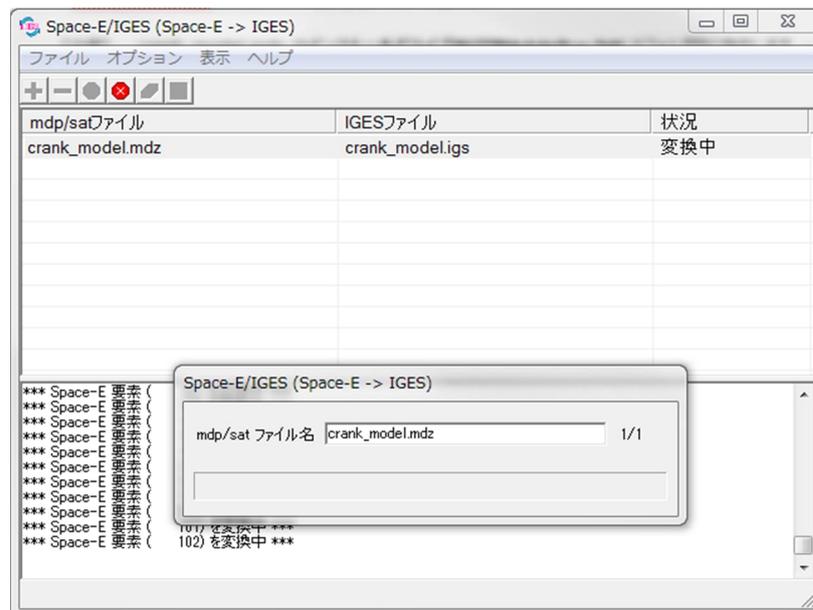


「開く」アイコン  をクリックします。
 ファイルを開くウィンドウが表示されます。
 「crank_model.mdz」を選択し、「開く」をクリックします。

【注意】 crank_model.mdz はインストールドライブ:¥HZS¥Modeler¥run_field のフォルダ内に存在します。

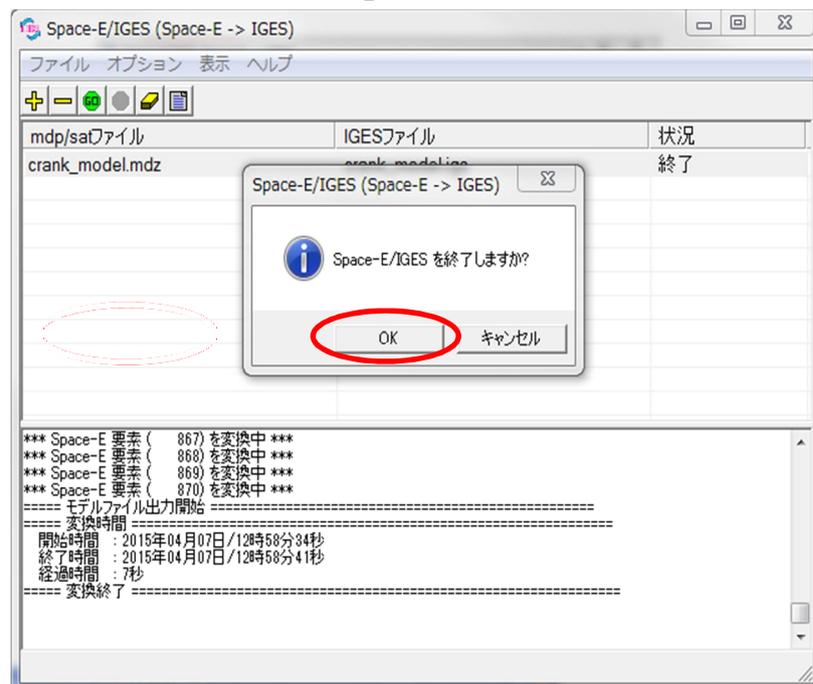


「ファイル」→「実行」を選択、または「変換の実行」アイコン  をクリックすると、変換が開始されます。



<変換の終了>

変換が終了したら、「ファイル」→「Space-E/IGES の終了」をクリックします。
確認ウィンドウが表示されますので、「OK」をクリックします。



これで IGES ファイルを作成することができました。

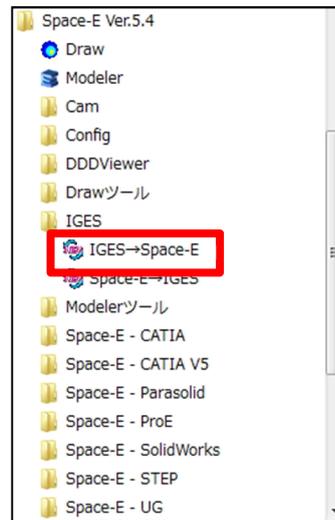
● **IGES → Space-E 変換**

作成した IGES ファイルを mdp ファイルに変換します。

< 起動 >

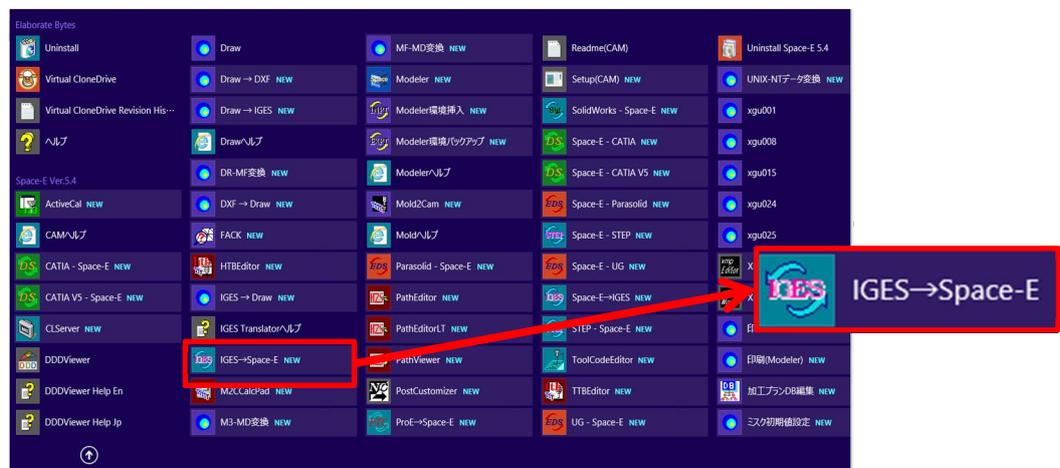
[IGES→Space-E]を起動します。

【Windows 7 の場合】

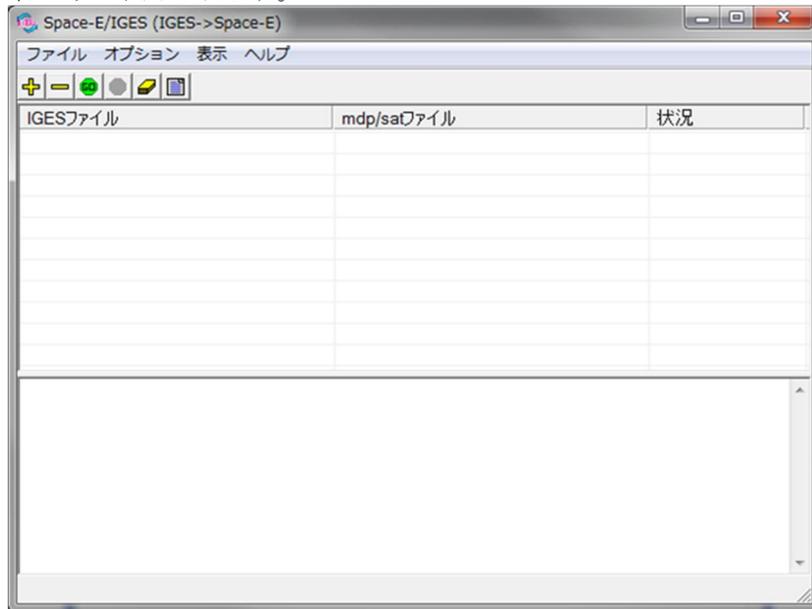


【Windows8、Windows8.1 の場合】

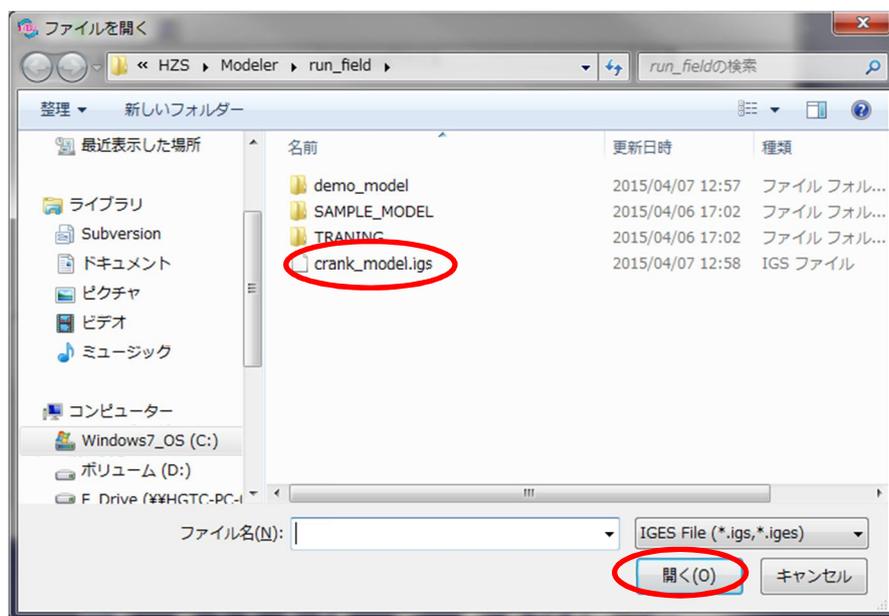
アプリ画面から起動します。



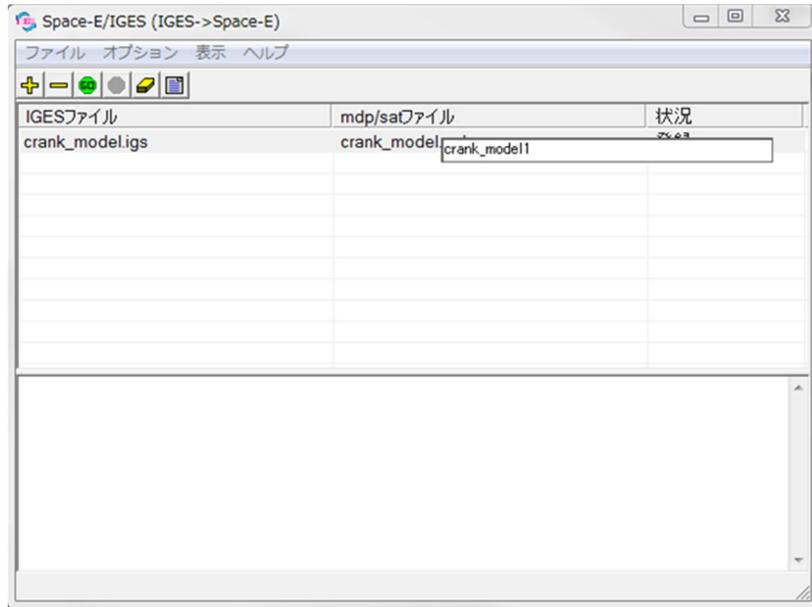
メインウィンドウが表示されます。



「開く」アイコン  をクリックします。
 ファイルを開くウィンドウが表示されます。
 「crank_model.igs」を選択し、「開く」をクリックします。

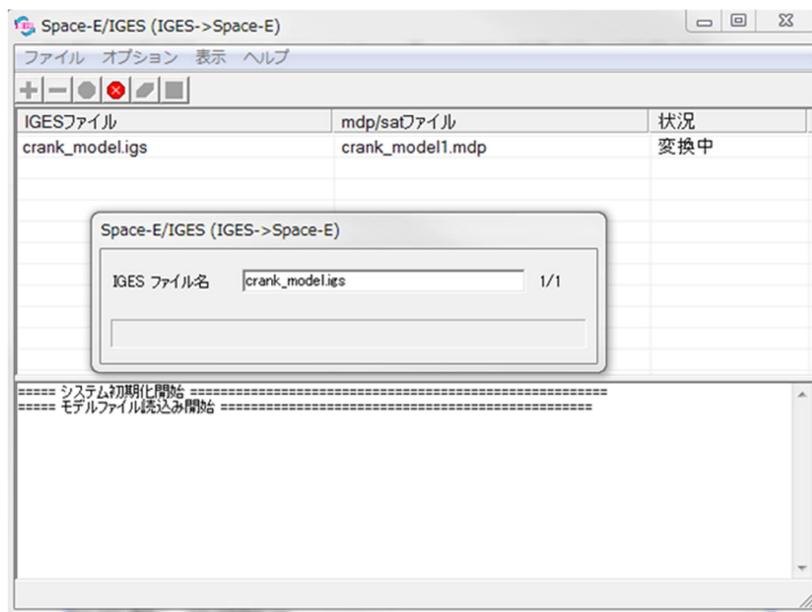


「mdp/sat ファイル」フィールドをダブルクリックし、モデル名称を **crank_model1** に変更します。
 [Enter]キーを押します。



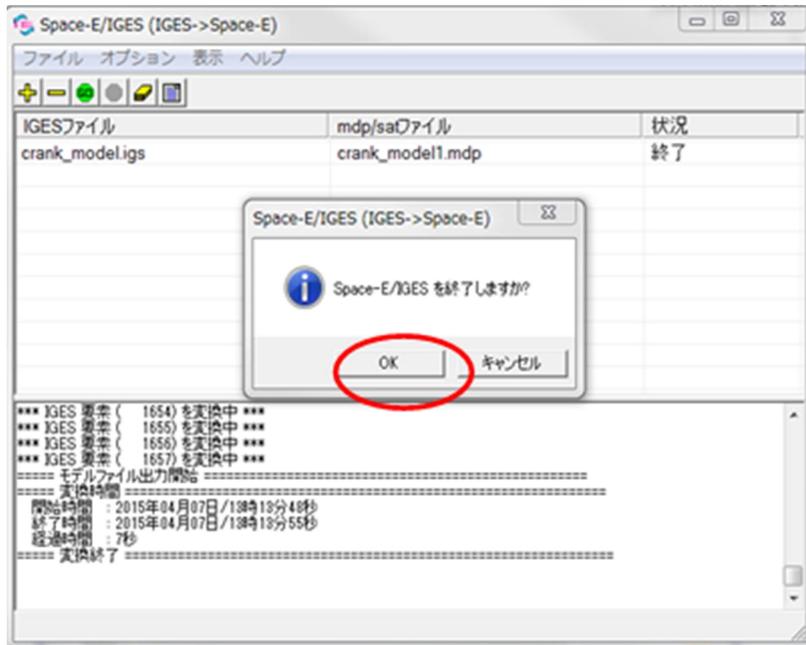
【注意】IGES ファイル「crank_model.igs」は Space-E → IGES で作成したファイルを利用します。

「ファイル」→「実行」をクリック、または「変換の実行」アイコン  をクリックすると、変換が開始されます。



<変換の終了>

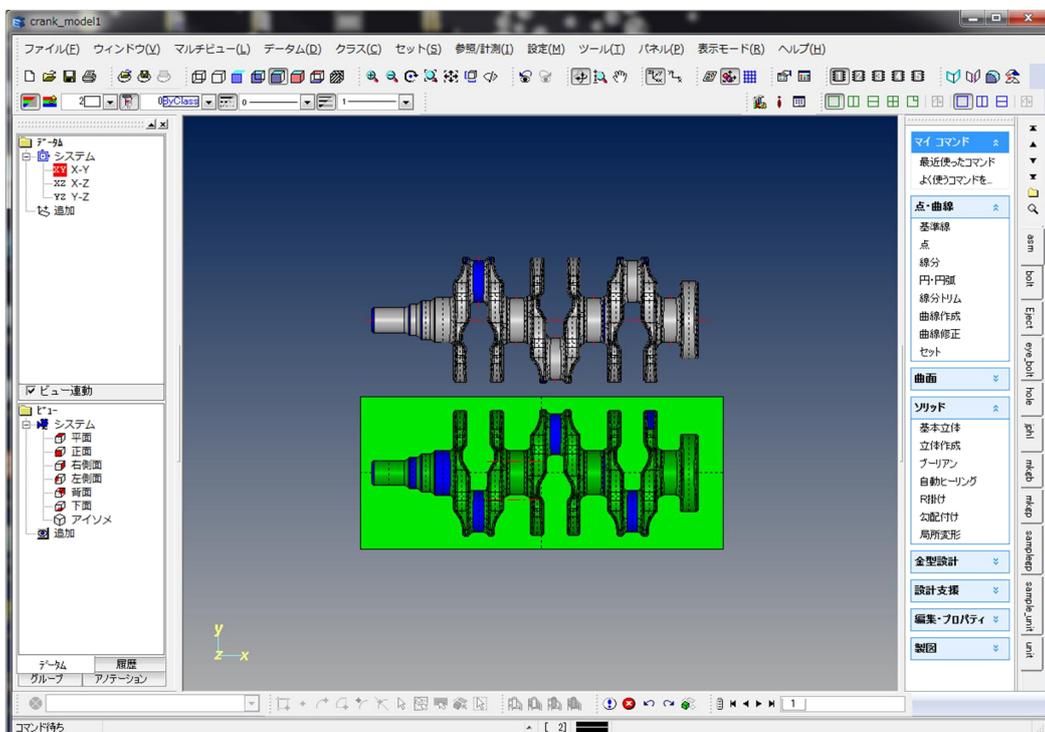
変換が終了したら、「ファイル」→「Space-E/IGES の終了」をクリックします。
確認ウィンドウが表示されますので、「OK」をクリックします。



これで mdp ファイルを作成することができました。

変換した mdp ファイルを *Space-E/Modeler* で確認します。

Space-E/Modeler を起動し、変換した mdp ファイル「crank_model1.mdp」を呼出します。

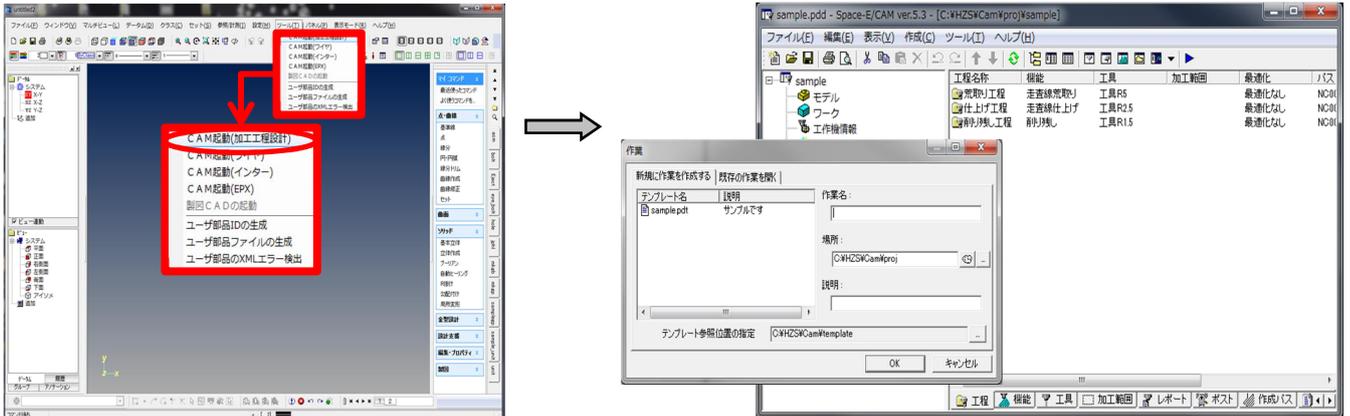


Space-E/CAM の起動と終了

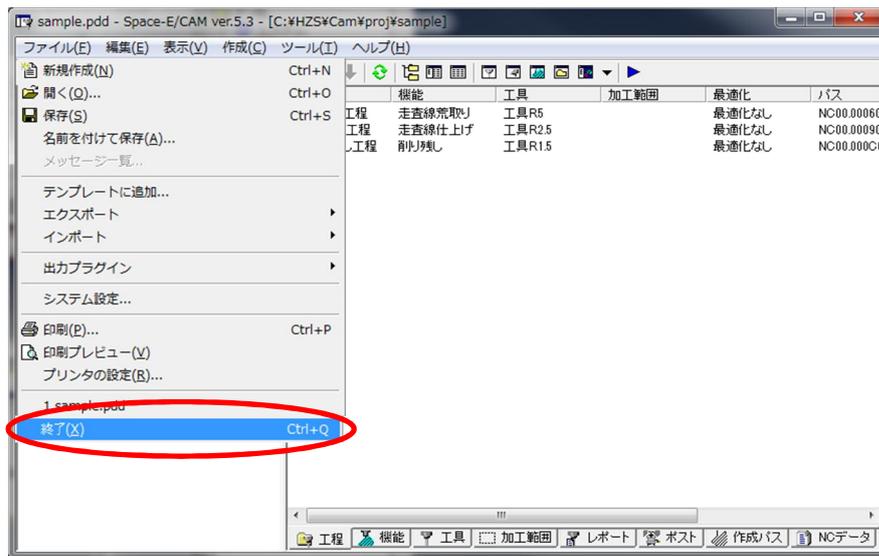
●加工工程設計・穴あけ加工の起動と終了

Space-E/Modeler の補助コマンドの中から**「ツール/CAM 起動(加工工程設計)」**をクリックします(ワイヤ放電加工が既に起動されている場合は先に終了してください)。

加工工程設計・穴あけ加工を起動します。



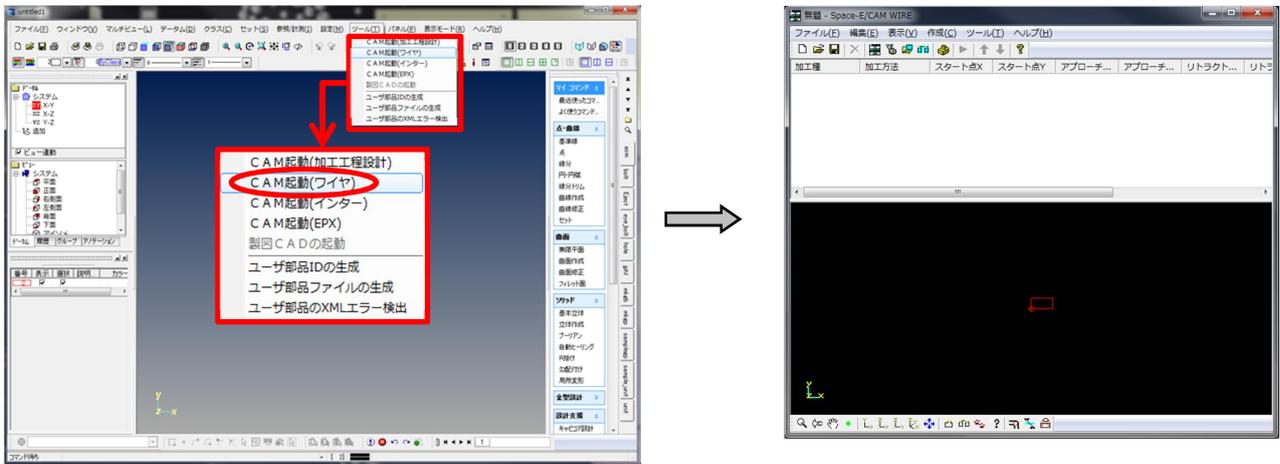
メインウィンドウの**「ファイル」→「終了」**をクリックします。



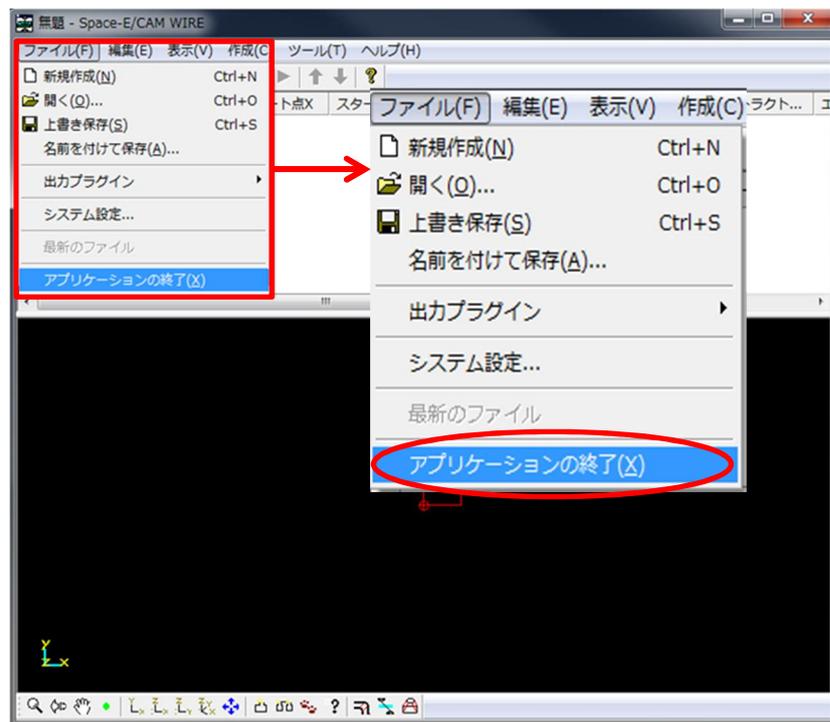
加工工程設計・穴あけ加工を終了します。

●ワイヤ放電加工の起動と終了

Space-E/Modeler の補助コマンドの中から「**ツール/CAM 起動(ワイヤ)**」をクリックします(加工工程設計が既に起動されている場合は先に終了してください)。ワイヤ放電加工を起動します。



メインウィンドウの「ファイル」→「アプリケーションの終了」をクリックします。



ワイヤ放電加工を終了します。

Space-E/Draw の起動と終了

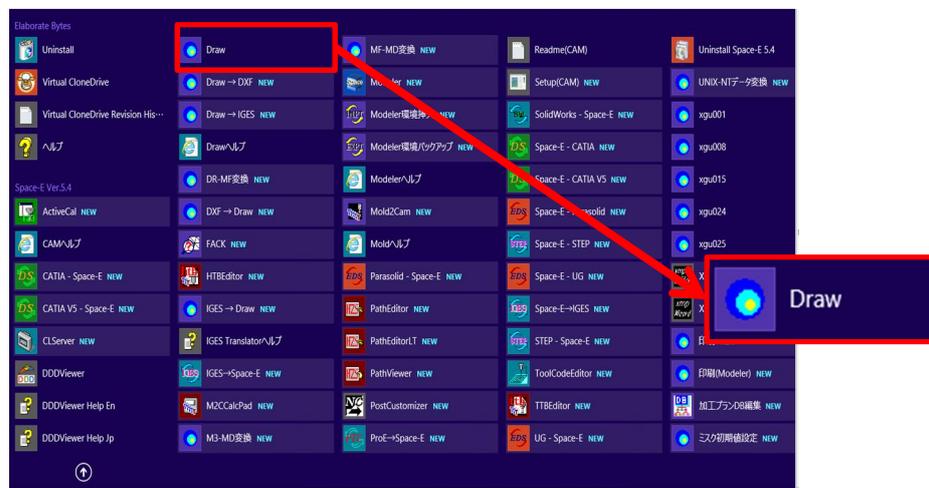
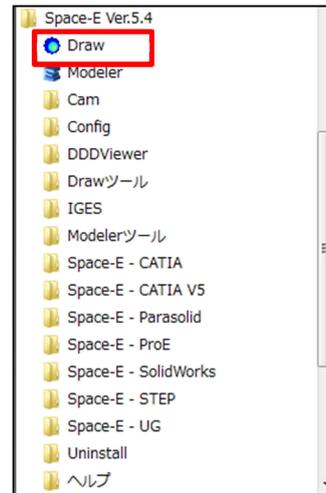
● Space-E/Draw の起動と終了

【Windows 7 の場合】

「スタート」→「すべてのプログラム」→
「Space-E ver.5.5」→「Draw」で起動します。

【Windows8、Windows8.1 の場合】

アプリ画面から起動します。



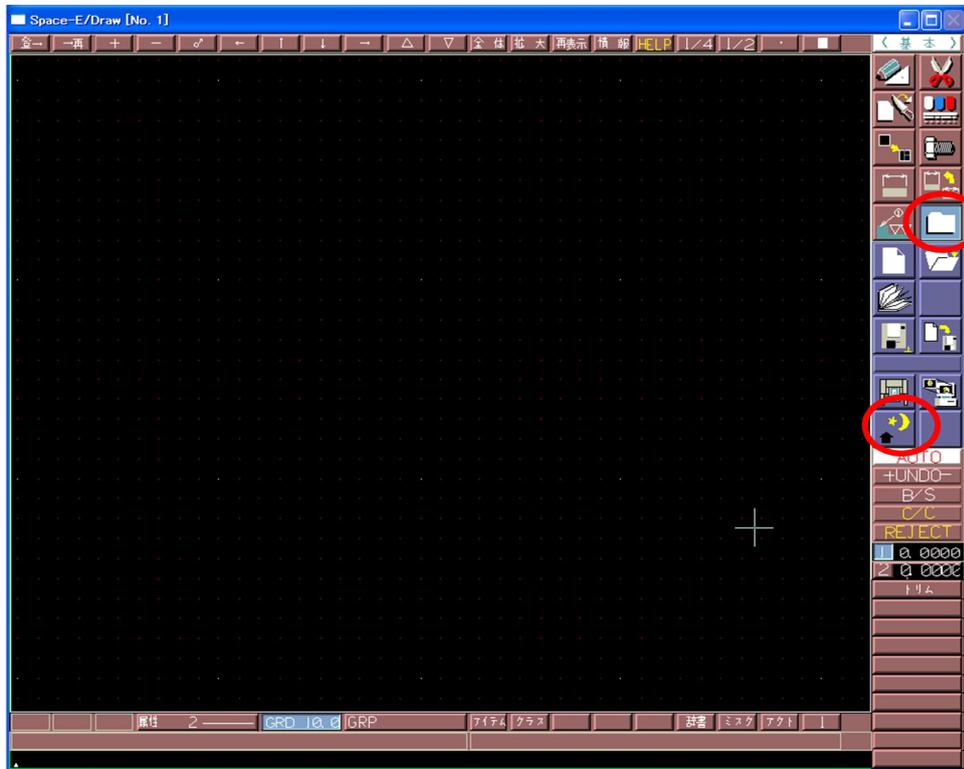
Space-E/Draw が起動されます。



Space-E/Draw の終了

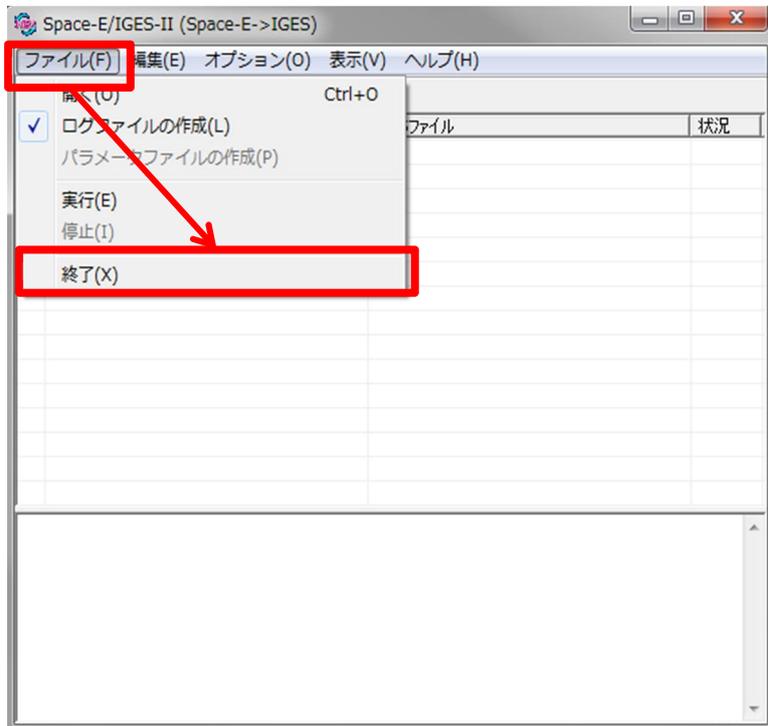
Space-E/Draw を終了する前にモデルを保存しているかどうか確認してください。

画面右のメニューの中から  →  を選択します。
これで Space-E/Draw は終了します。

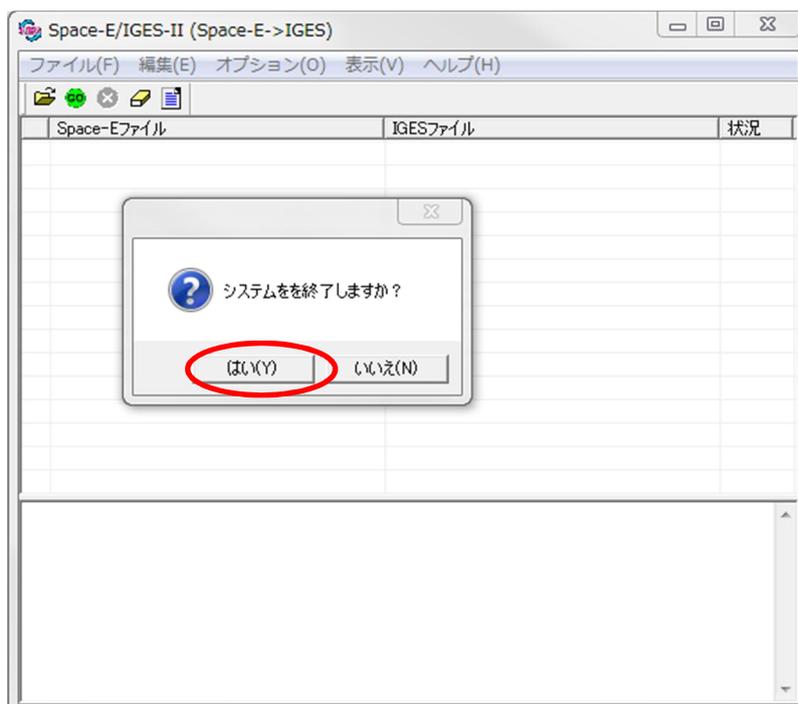


IGES(Draw→IGES)の終了

メインウィンドウの「ファイル」→「終了」を選択します。
「Draw→IGES」を終了します。



「IGES→Draw」の終了についても、同じようにメインウィンドウから「ファイル」→「終了」で終了できます。
「はい」で終了します。



● Draw ツール リンクユーティリティ (Draw→DXF) の起動と終了

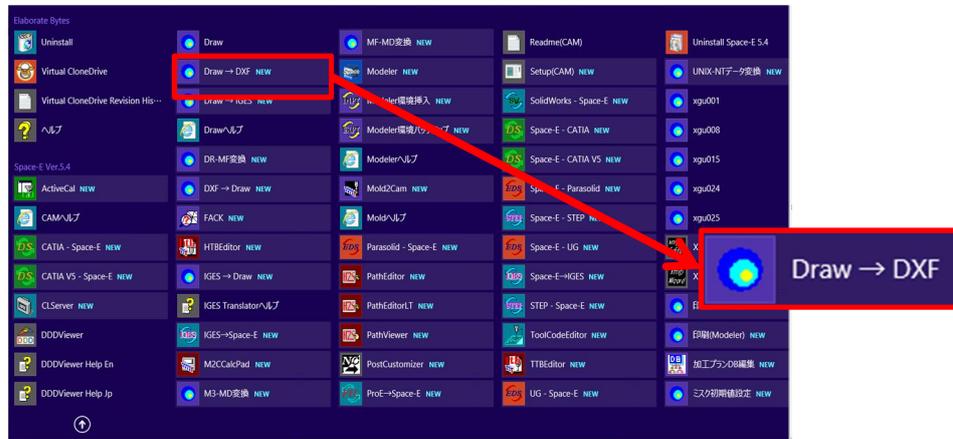
【Windows 7 の場合】

「スタート」→「すべてのプログラム」→
「Space-E ver.5.5」→
「Draw ツール」→「リンクユーティリティ」→
「Draw→DXF」で起動します。



【Windows8、Windows8.1 の場合】

アプリ画面から起動します。



メインウィンドウが表示されます。



その他のリンクユーティリティの起動についても、同じようにメニューの「スタート」→「すべてのプログラム」→「Space-E ver.5.5」→「Draw ツール」→「リンクユーティリティ」から、システムの名称を選択して起動します。

(Windows8、Windows8.1 の場合は、アプリ画面から起動します。)

リンクユーティリティ(Draw→DXF)の終了

メインウィンドウの「キャンセル」またはタイトルバーの「閉じる」で終了します。



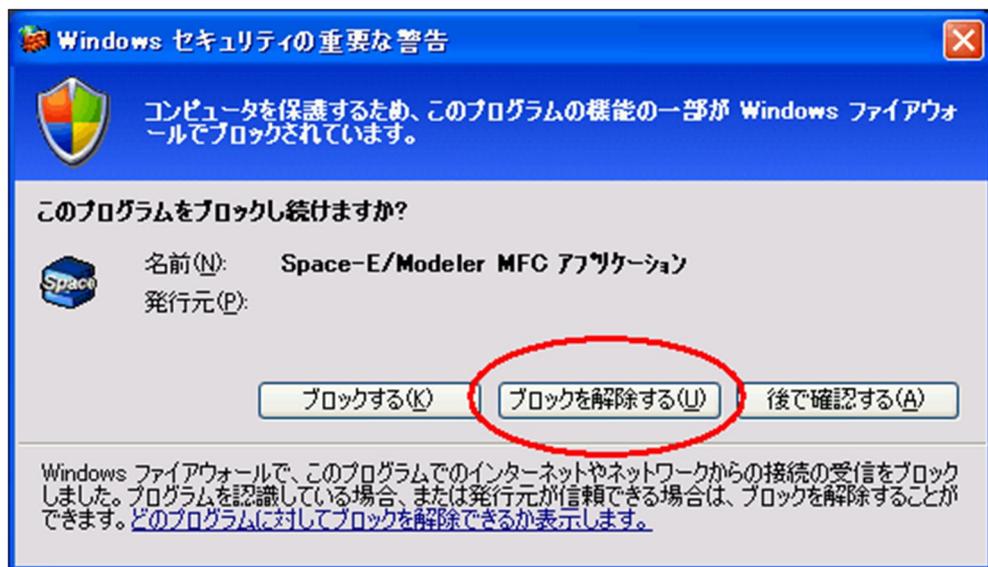
その他のシステムについては、メニューから終了、またはキャンセルを選択して終了できます。

付録：Space-E を Windows で動作させる際の注意点

Windows では、セキュリティ強化の為の機能追加が多く含まれています。このため、**Space-E Ver.5.5 (Mold Ver.5.5, SolidCAM Ver.5.5)** および **Space-E/Draw Ver.1.11** を実行する場合、固有の操作が必要になる場合があります。
以下の手順を参考に操作をお願い致します。

Windows ファイアウォールによる影響

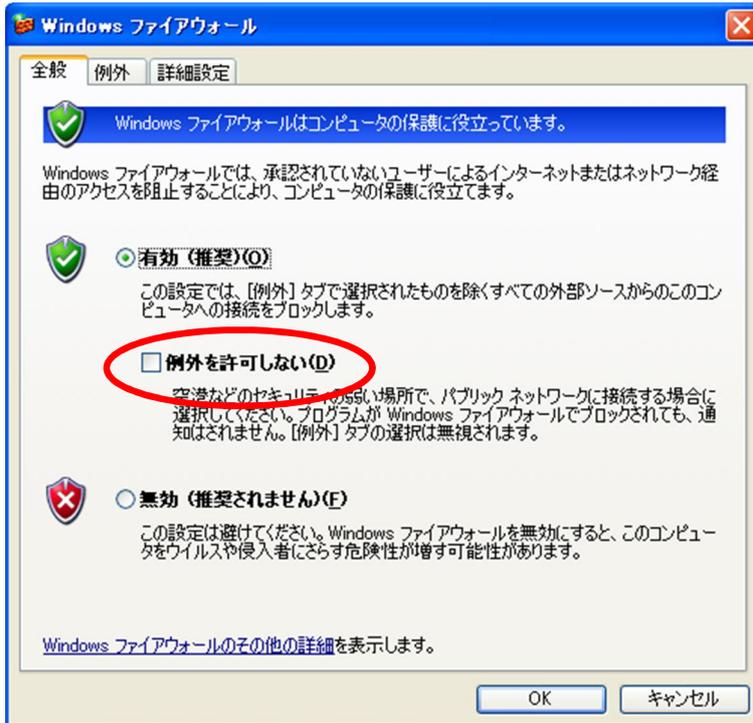
デフォルトは Windows ファイアウォールが有効になります。
この機能により、**Space-E** のいくつかのモジュールが影響 (モジュール間の通信が遮断される) を受け、正常に動作しない場合があります。
この影響を回避するためには、下記手順で **Space-E** モジュールを例外リストに登録していただく必要があります。
Space-E/Modeler、**Draw** 起動時、各種 **CAM** モジュール 起動 (スタートアップ 含む) ・計算実行時にこの操作が必要です。



Space-E モジュールが Windows ファイアウォールにブロックされた時のダイアログ (**Space-E/Modeler** 起動時の場合)

このダイアログが表示された場合は、「ブロックを解除する(U)」をクリックして、該当モジュールを例外リストに登録します。この操作により、該当モジュールが例外リストに登録され、次回からこのダイアログは表示されなくなります。

注意) 「コントロールパネル」の「Windows ファイアウォール」の「全般」パネルの「例外を許可しない」にチェックが入っていると上記操作は有効になりません。



Internet Explorer のセキュリティ強化による影響

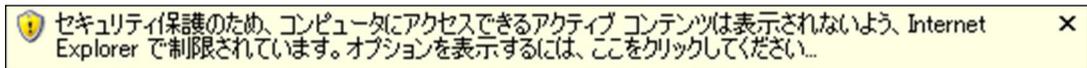
Internet Explorer(以下 IE)に対して各種の機能変更が行われていますが、その中に html ファイルのアクティブコンテンツと呼ばれる機能に対する実行制限が加わっています。この機能により、IE を使用して、オンラインマニュアル、CAMWeb の一部テンプレート使用時の結果を閲覧する場合に影響があります。

IE でドロップダウンリストによるページ切り替えなどを含むページを閲覧する場合、次のような警告が表示され、ドロップダウンリストによるページ切り替えができない場合があります。

ドロップダウンリストによるページ切り替えの例



IE の警告表示



この場合は、指示のように警告表示の領域をクリックして、表示されるダイアログから「ブロックされているコンテンツを許可(A)」をクリックしてください。これによってページの切替えが可能になります。



または、次の手順によって IE のインターネットオプションの設定を変更してください。この設定後は、閲覧時毎の操作は必要なくなります。但し、**Space-E** 以外のファイルに対しても「アクティブコンテンツの実行」が可能になりますのでご注意ください。

IE の「ツール」→「インターネットオプション(O)」でインターネットオプションのダイアログが表示されます。



表示されたダイアログの「詳細設定」→「セキュリティ」→「マイコンピュータでのファイルのアクティブコンテンツの実行を許可する」にチェックをつけてください。



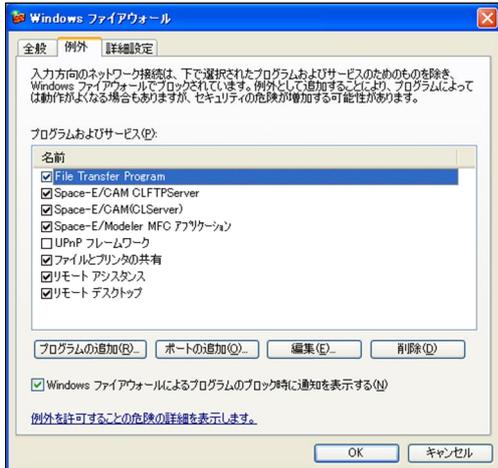
Space-E/Modeler

前述の Windows ファイアウォールと Internet Explorer のセキュリティ強化による影響以外は特にありません。

Space-E/CAM(CAM Hybrid2D 含む)

「コントロールパネル」の「Windows ファイアウォール」の「例外」パネルを開き、「File Transfer Program」のチェックが外れていないか確認してください。チェックが外れていると、Windows のマシンへ CL サーバ計算エントリーしたときに CAM 計算ができずに異常終了となります。

もし、チェックがされていない場合、チェックを指定してください。



<図1 Windows ファイアウォールのパネル図>

また、「例外」パネルに「File Transfer Program」がない場合、CAM 計算実行時に以下のようなパネルが現れますので、「ブロックを解除する」を指定してください。



<図2 Windows セキュリティの重要な警告のパネル>

Space-E/Draw

前述の Windows ファイアウォールと Internet Explorer のセキュリティ強化による影響以外は特にありません。

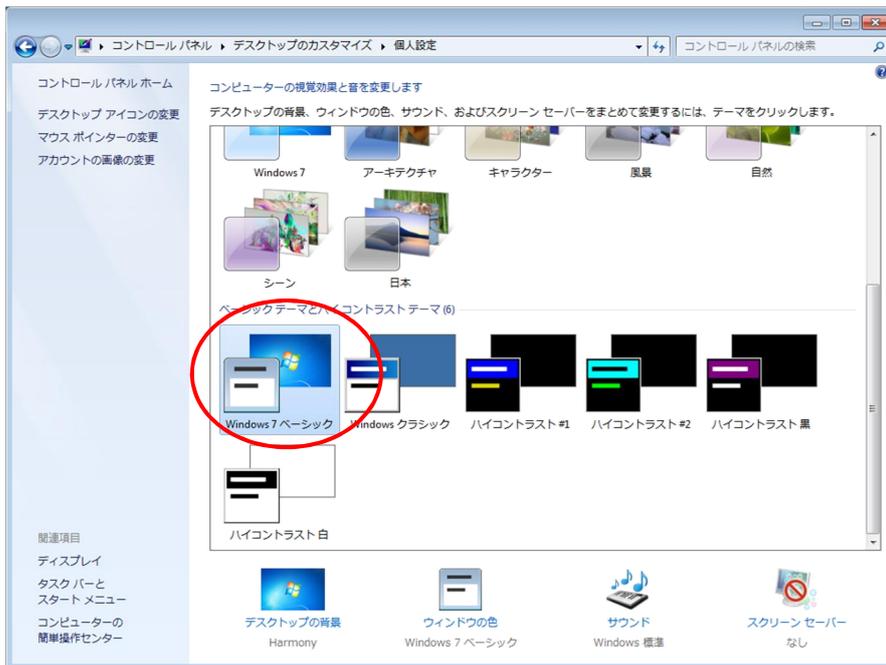
付録：Space-EをWindows 7にインストールする際の注意点

Space-EをWindows 7にインストールする場合、Space-Eのインストール前にWindows 7固有の設定が必要になります。以下の手順を参考に設定をお願い致します。

- ・ [スタート]—[コントロールパネル]をクリックします。
- ・ コントロールパネルから「デスクトップのカスタマイズ」の「テーマの変更」をクリックします。



- ・ 「個人設定」パネルが表示されます。「ベーシックテーマとハイコントラストテーマ」の中から「Windows 7 ベーシック」を選択し、[OK]をクリックします。



付録：Space-E/Modeler が Space-E/Draw より先にインストールされた際の対策

Space-E/Modeler が Space-E/Draw より先にインストールされた場合は、Modeler から Draw を起動することができません。このような場合は、Space-E のインストール先の¥HZS¥Mold¥Draw 下のフォルダをすべてコピーして、¥HZS¥Draw に上書きしてください。

付録：Space-E/CAM 機能継続キット

Space-E/CAM Ver.4.2 機能継続キット操作手順

Space-E/CAM Ver.4.3にて、Space-E/CAM Ver.4.2にあった一部機能を廃止しました。しかし、その内の以下の機能については、このVer.4.2機能継続キットを適用することにより継続して利用することができます。

※ 廃止機能につき、保守の対象外となります。

- ・等高線ストック荒取り
- ・等高線荒取り 2
- ・ペンシル 2

これらの機能を利用したい場合は、以下の手順に従ってセットアップしてください。

継続キット利用可能なお客様とその操作手順

Space-E の使用	バージョンアップ	以前の Ver.でのア ップグレード操作	V42backup フォルダ	本バージョンインストール後 のアップグレード操作手順
Ver.4.2 以前 から使用	Ver.5.0 以降から バージョンアップ	継続キット操作手 順を実施	CAM フォルダ内に V42backup 保管	手順①②参照
			CAM フォルダ以外に V42backup 保管	手順①②③参照
			V42backup フォルダなし	手順①②④参照
		未実施	V42backup フォルダなし	
Ver.4.3 以降 から使用	—	利用不可	利用不可	利用不可

① Space-E/CAM Ver.5.5(以下 Ver.5.5)のインストール

インストーラより「Space-E/CAM」を選択し、インストールを行って下さい。

既に Ver.5.5 をインストール済みであれば②の Ver.4.2 の機能を継続する環境セットアップの操作を行ってください。

ライセンスの登録は、インストールと再起動が終了した後でも、②の操作の終了後でも差し支えありません。

② Ver.4.2 の機能を継続する環境をセットアップ

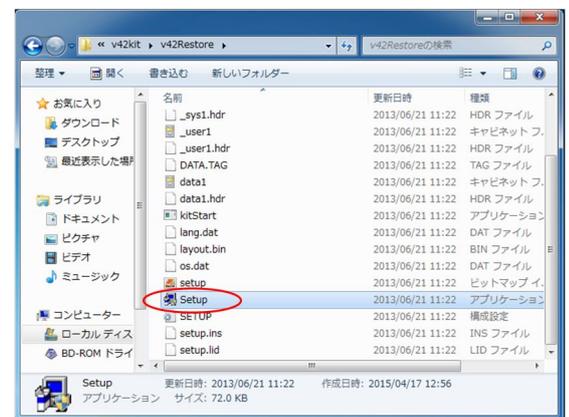
Ver.4.7 か、それ以前よりバージョンアップされる場合、

以前の v42backup フォルダは一旦削除ください。

予め、Ver.4.2 のインストールメディアを準備してください。

インターネットエクスプローラーの

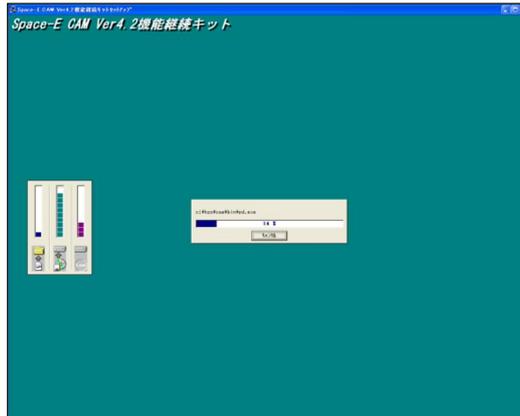
HZS フォルダ下の「CamRestoreKit/v42kit/v42Restore/Setup.exe」
を実行します。



Ver.5.5 がインストールされていない場合や *Space-E/CAM Hybrid2D* をインストールした場合、以下のようなパネルが表示され、Ver.4.2 機能継続キットのセットアップは行えません。



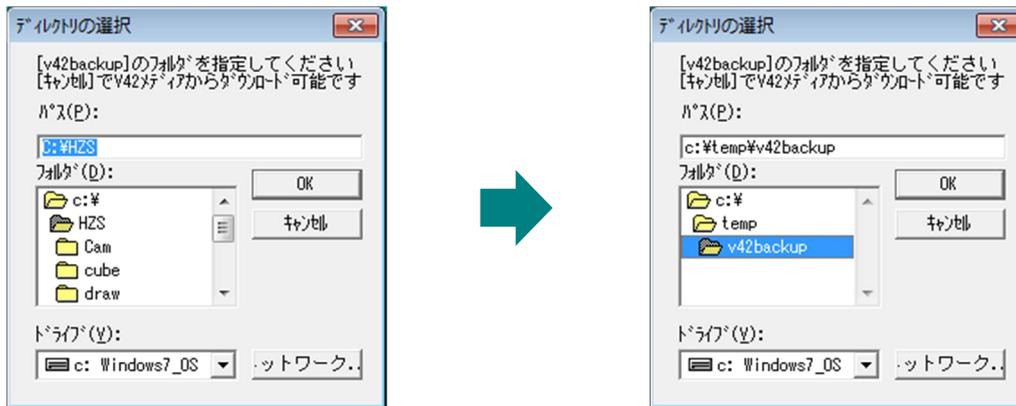
過去に Ver.4.2 機能の継続インストールを行ったマシンで、当時の v42backup のフォルダを削除もしくは移動していない場合、自動的にインストールが開始されます。



上図のパネルで「完了」を押すと Ver.4.2 機能の継続インストールが終了します。

③ バックアップのフォルダを選択

過去のバージョンアップで Ver.4.2 の機能を継続する環境セットアップの操作を行い、前回指定した v42backup のフォルダが残っていない場合は、以下のパネルが表示されます。Ver.4.2 のバックアップフォルダの場所を選択します。



ここで[キャンセル]を押すことで継続する機能のモジュールを Ver.4.2 のメディアから直接ダウンロード&インストールできます。過去にバックアップを行ったことがない場合、また、過去にバックアップ操作を行った後、Ver.4.2 のバックアップフォルダを削除してしまった場合にご利用ください。

④ Ver.4.2 のメディアから機能を継続する環境をダウンロード

Ver.4.2 のメディアとライセンスをお持ちでないお客様は使用できません。

過去に Ver.4.2 の機能を継続する環境保存の操作を行っていない、もしくは、v42backup フォルダが残っていない場合、以下のパネルが表示されます。

CAM フォルダの中に v42backup のフォルダが残っている場合は表示されません。

Windows の設定で自動起動を設定している場合、Ver.4.2 のメディアを DVD ドライブに入れて、すぐ後に[Shift]キーを押してください。

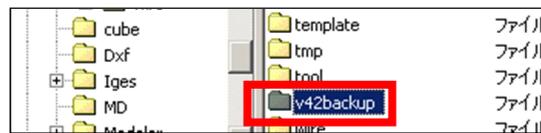
[Shift]キーを押すと Ver.4.2 のインストール画面が出ずにスムーズに作業が行えます。



Windows 7にて下図のようなパネルが表示された場合、パネル右上の「×」ボタンを押して自動実行をキャンセルしてください。



Ver.4.2 メディアからダウンロードするとSpace-EをインストールしていたドライブのHZS¥CAMの環境下に以下のフォルダが自動作成されます。



【注意】このフォルダを削除せずに残しておくことで今後のバージョンアップの操作が容易になります。できるだけ移動、削除しないようにするか次回インストール時に元のフォルダの中に移動設定するよう注意してください。

例えば、C:¥temp¥v42backupをフォルダ選択した場合、次回以降このフォルダを参照するようになります。次回インストール時にこのフォルダを移動もしくは削除していると「③バックアップのフォルダ選択」のパネルから再びフォルダもしくはメディアを選択となります。

アンインストールではv42backupのフォルダは削除されることはありません。

確認方法

Ver.4.2 継続キット適用後のバージョンは工程設計の「ヘルプ」-「バージョン情報」から確認できます。



Space-E/CAM Ver.5.0 機能継続キット操作手順

Space-E/CAM Ver.5.1にて、Space-E/CAM Ver.5.0にあった一部機能を廃止しました。しかし、その内の以下の機能については、このVer.5.0機能継続キットを適用することにより継続して利用することができます。

※ 廃止機能につき、保守の対象外となります。

- ・荒取り
- ・仕上げ
- ・螺旋仕上げ
- ・等ピッチ加工
- ・水平加工
- ・隅取り
- ・隅取り(旧)
- ・ペンシル
- ・モデル(フィレット設定)
- ・削り残り領域作成
- ・ホルダ干渉領域作成

これらの機能を利用したい場合は、以下の手順に従ってセットアップしてください。

① Space-E/CAM Ver.5.5(以下 Ver.5.5)のインストール

インストーラより「Space-E/CAM」を選択し、インストールを行って下さい。

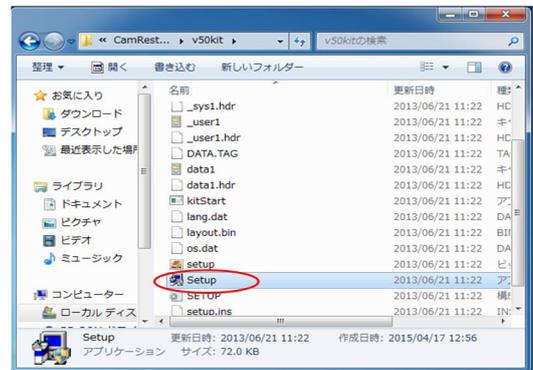
既に Ver.5.5 をインストール済みであれば②Ver.5.0 の機能を継続する環境セットアップの操作を行ってください。

ライセンスの登録は、インストールと再起動が終了した後でも、②の操作の終了後でも差し支えありません。

② Ver.5.0 の機能を継続する環境をセットアップ

予め、Ver.5.0 のインストールメディアを準備してください。

インターネットエクスプローラーの
HZZ フォルダ下の
「CamRestoreKit/v50kit/v50Restore/Setup.exe」
を実行します。



Ver.5.5 がインストールされていない場合は以下のようなパネルが表示され、Ver.5.0 機能継続キットのセットアップは行えません。



③ Ver.5.0 のメディアから機能を継続する環境をダウンロード

Ver.5.0 のメディアとライセンスをお持ちでないお客様は使用できません。

Windows の設定で自動起動を設定している場合、Ver.5.0 のメディアを DVD ドライブに入れて、すぐ後に[Shift]キーを押してください。

[Shift]キーを押すと Ver.5.0 のインストール画面が出ずにスムーズに作業が行えます。



Windows 7にて下図のようなパネルが表示された場合、パネル右上の「×」ボタンを押して自動実行をキャンセルしてください。



Ver.5.0 メディアからダウンロードすると **Space-E** をインストールしていたドライブの **HZS¥CAM** の環境下に以下のフォルダが自動作成されます。



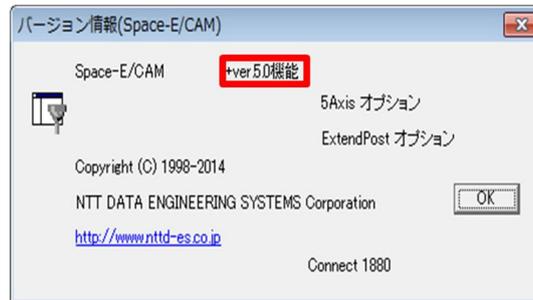
【注意】このフォルダを削除せずに残しておくことで今後のバージョンアップの操作が容易になります。できるだけ移動、削除しないようにするか次回インストール時に元のフォルダの中に移動設定するよう注意してください。

例えば、C:¥temp¥v50backup をフォルダ選択した場合、次回以降このフォルダを参照するようになります。

アンインストールでは v50backup のフォルダは削除されることはありません。

確認方法

Ver.5.0 継続キット適用後のバージョンは工程設計の「ヘルプ」-「バージョン情報」から確認できます。



Space-E Ver.5.5のインストールDVDに対して以下のウイルスチェックプログラムを使用してウイルスに感染していないことを確認しています。
また、インストール後のコンピュータに対しても同様の確認作業を行いウイルスに感染していないことを確認しています。

マカフィー株式会社

McAfee VirusScan Enterprise Version 8.8

*2015/02/24*付けウイルス定義ファイル *8084*

スキャンエンジン(64ビット) *5800.7501*

『**Space-E Ver.5.5** インストールガイド』

Space-E/Modeler Ver.5.5

Space-E/Mold Ver.5.5

Space-E/CAM Ver.5.5

Space-E/CAM Hybrid 2D Ver.5.5

Space-E/Draw Ver.1.11

Space-E DirectTranslator Ver.5.5

初版発行 2016年02月29日

発行 株式会社NTTデータエンジニアリングシステムズ
〒144-8601 東京都大田区西蒲田7-37-10
